# Ⅲ　放課後子ども教室の実践事例


◆平成２５年度放課後子ども教室一覧　・・・・１２３
◇長浜市　・・・・１２４
◇栗東市　・・・・１４３
◇甲賀市　・・・・１５１
◇野洲市　・・・・１５７
◇東近江市　・・・・１６５
◇米原市　・・・・１６７
◇竜王町　・・・・１７２
◆放課後児童クラブの現状調査　・・・・１７７

## Ｈ２５　放課後子ども教室一覧表　　7市町42教室

| 市町名 | 教室数 | 運営委員会・教室名 | 実施場所 | 開催曜日 | 開設時間 | 委託 | 委託団体名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 長浜市 | 15 | ○長浜市放課後子どもプラン運営委員会 | | | | | |
| | | 長浜小学校区土曜学び座 | 長浜公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 長浜北小学校区土曜学び座 | 長浜サンパレス・養蚕の館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 神照小学校区土曜学び座 | 神照公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 南郷里小学校区土曜学び座 | 南郷里公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 北郷里小学校区土曜学び座 | 北郷里公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 長浜南小学校区土曜学び座 | 西黒田・神田・六荘公民館 | 土 | 9:00～12:00 | ○ | 長浜南土曜学び座協議会 |
| | | びわ地区土曜学び座 | びわ公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 浅井地区土曜学び座 | 湯田・田根・下草野・上草野・七尾公民館、浅井体育館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 虎姫地区土曜学び座 | 虎姫公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 湖北地区土曜学び座 | 湖北公民館 | 土 | 9:00～12:00 | ○ | NPO法人学びの里湖北 |
| | | 高月地区土曜学び座 | 高月公民館 | 土 | 9:00～12:00 | ○ | 高月地域づくり協議会 |
| | | 木之本地区土曜学び座 | 公立木之本公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 余呉地区土曜学び座 | 余呉文化ホール等 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 西浅井地区土曜学び座 | 西浅井公民館 | 土 | 9:00～12:00 | ○ | 西浅井地域づくり協議会 |
| | | もっと遊び隊 | 長浜市内公民館、学校、田んぼ、公園等 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| 栗東市 | 7 | ○栗東市地域教育協議会 | | | | | |
| | | 葉山東ふれあい子ども広場 | 葉山東小学校体育館　コミュニティセンター葉山東 | 水 | 15:00～17:00 | | |
| | | はるたっこ広場 | 治田小学校体育館 コミュニティセンター治田 | 金 | 15:00～17:00 | | |
| | | チャレンジはるひがっこ | 治田東小学校体育館・コミュニティセンター治田東 | 水 | 15:00～17:00 | | |
| | | 治西のびのび広場 | コミュニティセンター治田西　治田西小学校 | 水 | 15:00～17:00 | | |
| | | 大宝わくわくタイム | 大宝小学校体育館 | 水 | 15:00～17:00 | | |
| | | 大宝西ふれあい子ども広場 | 大宝西小学校体育館　コミュニティセンター大宝西 | 水 | 15:00～17:00 | | |
| | | さんさん・キッズ | 大宝東小学校体育館　コミュニティルーム | 水 | 15:00～17:00 | | |
| 甲賀市 | 5 | ○甲賀市子どもプラン運営委員会 | | | | | |
| | | 水口子ども教室 | 水口中央公民館　水口中部コミュニティーセンター　子どもの森他 | 土・日 | 午前2時間または午後2時間 | | |
| | | 土山子ども教室 | 土山中央・鮎河・山内・大野公民館他 | 火・水・木・土・日 | おもに午前中 | | |
| | | 信楽子ども教室 | 信楽中央公民館・ワークセンター紫香楽・隼人川みずべ公園など | 日 | おもに午前中 | | |
| | | 甲南子ども教室 | 甲南公民館・かえで会館他 | 土 | 午前2時間または午後2時間 | | |
| | | 甲賀こども教室 | かふか生涯学習館・甲賀創健館他 | 火・土・日 | 午前2時間または午後2時間 | | |
| 野洲市 | 6 | ○野洲市地域教育協議会 | | | | | |
| | | 中主地域子ども教室（中里・兵主） | コミュニティセンターなかさと・ひょうず | 土・日 | 9:00～16:00（内2～3時間） | ○ | 野洲市地域教育協議会 |
| | | 篠原地域子ども教室 | コミュニティセンターしのはら | 月・木 土・日 | 9:00～16:00（内2～3時間） | | |
| | | 祇王子どもクラブ | コミュニティセンターぎおう | 土・日 | 9:30～11:30（内2時間） | | |
| | | 三上楽しいクラブ活動 | コミュニティセンターみかみ | 土・日 | 9:30～12:00（1.25時間～2.5時間） | | |
| | | 野洲学区わくわく子どもクラブ | コミュニティセンターやす | 土 | 9:30～12:00（1.25時間～2.5時間） | | |
| | | 北野っ子フレンドリークラブ | コミュニティセンターきたの | 土・日 | 9:30～11:30<br>14:00～18:00 | | |
| 東近江市 | 1 | ○東近江市地域教育協議会 | | | | | |
| | | 蒲生マックスクラブ | 蒲生コミュニティーセンターとその周辺 | 土 | 9:00～12:00<br>13:00～15:00<br>13:30～16:00 | ○ | 蒲生地区地域教育力体験活動実行委員会 |
| 米原市 | 4 | ○米原市放課後安心プラン運営委員会 | | | | | |
| | | 放課後キッズinおうみ | 近江地域内の里山・農園・公民館 | 平日・日 | 9:30～11:30<br>10:00～14:00 | ○ | NPO法人　おうみ地域人権・文化・スポーツ振興会 |
| | | 放課後キッズinまいはら | すぱーく米原、河南小学校、旧息郷小学校 | 土 | 9:00～11:00 | ○ | NPO法人　MOSスポーツクラブ |
| | | 放課後キッズinきんせい | 米原市山東生涯学習センター | 水<br>土 | 15:00～17:00<br>9:30～11:45 | ○ | タウンルッチ |
| | | 放課後キッズinジョイ | 伊吹薬草の里文化センター、伊吹山文化資料館、 | 水・日 | 16:00～17:45<br>10:00～12:00 | ○ | 伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 |
| 竜王町 | 4 | ○公民館子ども教室運営委員会 | | | | | |
| | | 宇宙科学クラブ | 竜王町公民館他 | 月・金<br>土・日 | 9:00～12:00<br>9:00～16:00<br>19:00～21:00 | | |
| | | 絵画クラブ | 竜王町公民館他 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| | | 吹奏楽教室 | 竜王町公民館他 | 土 | 19:30～21:30 | | |
| | | 和太鼓クラブ | 竜王町公民館 | 土 | 9:00～12:00 | | |
| 県計 | 42 | | | | | | |

# 長浜市

連絡先
長浜市企画部生涯学習・文化スポーツ課
TEL　０７４９－６５－６５５２
FAX　０７４９－６５－６５７１
E-mail　syougaku@city.nagahama.ig.jp

## １　運営委員会組織

運営委員会名

長浜市放課後子どもプラン運営委員会

委員数　（２２）人

構成委員（所属・役職名）

長浜市内各公民館土曜学び座担当者
長浜市放課後子どもプランコーディネーター
生涯学習・文化スポーツ課　職員

## ２　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| １ | ４月２５日 | ２４人 | ・土曜学び座事務要領、安全管理マニュアルについて<br>・もっと遊び隊概要説明<br>・伝統文化体験派遣事業実施要領について |
| ２ | ７月１８日<br>１９日 | １６人 | ・土曜学び座事務要領について<br>・土曜学び座事業について取り組み状況聞き取り |
| ３ | １１月２６日 | ２７人 | ・土曜学び座実践事例集の作成について<br>・予算執行予定額の報告について<br>・これからの土曜学び座のあり方についてワークショップ |

## ３　広報

・参加者募集については、学校を通じてチラシを配布し、学参加者の取りまとめをしてもらっている。
・学校掲示板に土曜学び座コーナーを設け宣伝していただいている。
・随時、チラシを報道機関へ資料提供し活動内容をＰＲしている。

## ４　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

〈学校〉参加者募集について、学校を通じてチラシを配布し、学校で参加者の取りまとめをしてもらっている。

〈子ども会・地区社会福祉協議会・地域づくり協議会など〉
事業の共催や指導者、ボランティアとして協力してもらっている。

〈企業・大学〉
講師として協力してもらっている。

## ５　スタッフの研修・ミーティングなど

〈土曜学び座担当者会議〉　内容：事業内容の情報交換・活動の進め方についてなど（年3～4回）
対象：各公民館土曜学び座担当職員、コーディネーター

〈コーディネーター連絡会議〉内容：各公民館の実施状況や課題について、土曜学び座のつどいについて

# 長浜市　　土曜学び座　　長浜小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 34 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 2 日 |

## 活　動　内　容

### 手作り味噌を作ろう




味噌の仕込みは毎年二月の講座で行う。講師は地元の農家の方に依頼して材料も地元で調達する。約六カ月間ねかして、九月の講座で味噌を完成させ、皆でみそ汁にして味わう。



具だくさんなみそ汁もすべて地元の野菜を使い地産地消の意味を体感する。

ー

### 長浜バイオ大学へ見学に行こう




子ども達の日常をとび出し、異年齢の学生さんと交わることで新鮮な気持ちで興味や発見のできる講座。実際に大学の教授の講義を受け、その後は学生さんの指導で実験を行い、締めは学食を利用して昼食をとる。小学生向けのオープンキャンパス。



体験を通して理科に興味を持ちだす子がふえることも期待したい。

## 教室の実施場所

長浜公民館、長浜小学校、西中学校体育館、
長浜農業高校、長浜バイオ大学

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学生（1年生～6年生）
【参加人数】平日　　（　　）人
　　土日・祝日　　（　1,500　）人
　　長期休暇　　（　253　）人
　　※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

地域の方々には、講座内容に沿って適任な方に講師として、時にはボランティアとして参加協力して頂いている。

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | 0～3 | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】参加は、保護者の送迎を原則とし、毎月の募集チラシで呼び掛けている。

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】コーディネーターや職員が場面に応じて支援体制をとるが、現在該当者なし。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】予定日の配布・申込書の回収
【学校支援地域本部】学校支援メニュー等の情報提供
【児童クラブ】なし
【地域】　講師、ボランティアスタッフの依頼
　　連携した講座を開催
【その他】市内関連施設との情報交換

## 事業を実施して

【成果と課題】：子ども達の週末の居場所づくりとして定着してきた。
【子どもの声】：学校がお休みでも友だちと約束なしで遊べる場所がここ。
【保護者の声】：学び座で学校や家でも発散できないストレスを解消しているようです。
【スタッフの声】：「子どもを地域で育てる」拠点として地域の特性をいかした活動を進めていきたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　長浜北小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 29日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 1日 |

## 活　動　内　容

**「リズムダンス」**　昨年度から定期化している講座です。4月当初は初めての子供も多く、ボランティアの方にも手伝って頂いていたが、回を重ねるごとに、子供達も上達していって覚えも早くなっていった。今年は、発表の場を設けてそれに向けて目標をもたせた。そうすると、子供たちの意識も徐々に変わってきて、向上心を持つようになってきた。本番に向けて、いい緊張感もあり、終わった時は達成感もあった。来年に向けては、より一層充実した講座に出来るようにしていきたい。

**「子ども箏体験」**　伝統文化に触れる機会が出来ることを目的とした講座です。伝統に触れることがほとんどない子供達なので、参加者が集まるか心配であったが、予想を上回る参加人数だった。教室もあまり堅苦しくもなく、楽しく進行した。ただ、子供達は普段正座をすることがないので、ほとんどの子供が　足がいたいと言っていた。これからは、他の伝統に触れてもっと地域の人達とも交流できるような講座を開催していきたい。





## 教室の実施場所

養蚕の館・長浜公民館

## 参加対象学年・参加人数

**【対　　象】**小学校1～6年生
**【参加人数】** 平日　　（　　）人
土日・祝日　（ 386 ）人
長期休暇　（ 9 ）人
※延べ参加者数を記入してください
**【特別支援が必要な子どもの参加人数】**（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

**【採用・募集方法】** 施設から直接依頼

**【スタッフ配置人数】**

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | 1 | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

**【送迎】**　保護者の送迎を原則とする

**【緊急対応】**土曜学び座安全マニュアルに基づき対応する。参加申し込み用紙には電話番号を記載。

**【配慮の必要な子どもへの対応】**現在はないが、あれば先生・両親と相談する。

**◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人**

## 地域の機関等との連携

**【学校】**　教務の先生に依頼する。
**【学校支援地域本部】**　　なし
**【児童クラブ】**　なし
**【地域】**　地域住民にボランティアを依頼。
**【企業・大学】**　なし
**【その他】**　他公民館との情報交換

## 事業を実施して

**【成果と課題】**：昨年度からの継続は成果が出てきている。このような講座を増やしていきたい。

**【子どもの声】**：楽しかった。

**【保護者の声】**：子供達と一緒に出来る事が良い

**【スタッフの声】**：子供達の行動には色々な発見がある。

# 長浜市　　土曜学び座　　神照学区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 16 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

●体験学習・・・もち米作りをした。
田植え～餅つきまでの体験



稲刈りの様子

● 体験学習・・・さつまいも作りをした。
苗植え～収獲までの体験



さつまいもの苗を植えるところに
黒いシートをかけているところ。
（害虫の発生を防ぎ、保湿作用がある）

● 親子ふれあい広場
神照小学校体育館にて



フリースロービンゴをしているところ
年齢を関係なく楽しめるのが良い。

## 教室の実施場所

神照公民館　神照小学校体育館
学区内の畑・田んぼ
虎御前山キャンプ場

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生（1年生～6年生）
【参加人数】 平日　　（　0　）人
土日・祝日　（ 23 ）人
長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

コーディネーターや地域の方々に声をかけ、
講師やお手伝いをお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | 2 | 0～1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
保護者の送迎を原則としている。
土曜学び座安全マニュアルに基づき対応。参加申し込み名簿に電話番号を記載。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ 3 ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 チラシ配布・回収
【学校支援地域本部】　情報提供や講師の依頼
【児童クラブ】 なし
【地域】 講師・スタッフの依頼・事業の共催
【企業・大学】 プログラム紹介や出前講座の依頼
【その他】 市内関連施設との情報交換

## 事業を実施して

【成果と課題】: いつもリピーターの子どもが多かったが、新しい子どもがずいぶん増えた。
相変わらず、高学年の参加が少ない。当日の欠席者が多い。講座のマンネリ化。

【子どもの声】: おもしろかった。

【保護者の声】: いつも楽しみにしている。家で出来ない経験をさせてもらえる。

【スタッフの声】: 子どもの反応を見るのは楽しいし、勉強にもなる。皆で何かを制作するような講座をしていきたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　南郷里小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 15 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0日 |

## 活　動　内　容

◆工作「バスボムをつくろう」「おりがみでフラワーアート」「わりばしで絵をかこう」「たなばたささかざり」「公民館のかべに絵をかこう」「グラスデコでクリスマス」
◆伝承「むかしのあそびでふれあおう」
◆ 軽スポーツ「たのしくからだをうごかそう」
◆企業「キヤノンジュニアフォトグラファーズ」
◆料理「おやこの食育教室」「お菓子作り」
◆その他「おたのしみ会」
〇公民館の移転に伴い、旧公民館を取り壊すため壁に絵を描く企画を行なった。チョークで人型をとり、ポスターカラーで色付けする方法で自画像を描いてもらった。子どもたちは手足が汚れるのも気にせず、のびのびと絵を描くことができてとても楽しそうだった。この様子は新聞やケーブルテレビなどに取り上げられた。
〇長浜キヤノンさんの協力で、1人1台のデジタルカメラで撮影する講座を行なった。自然をテーマに学校の周りを撮影し、お気に入りを1枚プリントしていただいた。子どもたちの感性にあらためて気づかされた講座となった。





## 教室の実施場所

南郷里公民館、南郷里小学校体育館・運動場

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 南郷里小学校児童
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　　（　370）人
長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】　各種団体の地区代表の方にお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | ー | ー | 1 | 1 |
| 登録者数 | ー | ー | 1 | 0 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】　保護者による送迎を原則としている。帰宅時には見守りを徹底する。
【緊急対応】 学び座安全マニュアルに基づき対応

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（0）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 予定表の配布、回収
【学校支援地域本部】
【児童クラブ】
【地域】 民生児童委員、健康推進員、図書ボランティア
【企業・大学】 長浜キヤノン株式会社
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 新たな企画を実施することができた。保護者も共に楽しんでほしいのだが難しい。
【子どもの声】: 「めっちゃ楽しかった。」
【保護者の声】: 「子どもが楽しみにしている。」
【スタッフの声】: 「学び座でぜひ〇〇をやりたい。」とスタッフの方から声をかけてくれる。

# 長浜市　　土曜学び座　　北郷里小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ー | | 平日 | ー | | 16 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | |

## 活　動　内　容

◆工作「母の日プレゼント」「父の日プレゼント」「」「フォトフレームづくり」「クリスマス飾りづくり」
◆伝承「むかし遊び」「カロム大会」「しめ縄づくり」
◆ 軽スポーツ「レクレーションゲーム」「ニュースポーツで遊ぼう」「卓球教室」
◆自然学習「横山ピクニック」「のろし駅伝」
◆企業「大阪ガス環境学習」
◆料理「食育：塩分について」「お菓子作り」「もちつき大会」「長い巻きずしづくり」
◆その他「おばけ屋敷をつくろう」
○今回だけの目標「他学年の友達をつくる・全力でおばけやしきをつくる」を設定し、「おばけやしきをつくろう！」を開講した。“ミッション”という形で、活動中に取り組む目標を設定し、各班でクリアを目指した。学び座の今年の目標も折り込み周知徹底に励んだ。班で力を合わせお墓・病院などのお化け屋敷を作り、お客を招いた本番ではおばけになりきった子どもたちが迫真の演技をみせてくれた。子どもたちは「皆で一所懸命頑張った。」「来年も参加したい。」と感想を述べていた。
○「クリスマス飾りづくり」でクリスマスツリーだけでなく、部屋の小さなインテリアにもなるような飾り作りをした。子どもたちはクリスマスにちなんだ多種多様なデザインを考え制作した。材料は紙ねんど、モール、ビーズなど。色鮮やかなモールを三つ編みにしたり、星をかたどったり、サンタさんを作るなど、各々工夫をこらして賑やかな飾りが出来上がった。





## 教室の実施場所

北郷里公民館・北郷里小学校体育館・屋外講座

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　（ 273 ）人
長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
各種団体の地区代表の方にお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | 1～2 | 1 |
| 登録者数 | | | 0 | 0 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】　保護者による送迎を原則としている。帰宅時には見守りを徹底している。
【緊急対応】 学び座安全マニュアルに基づき対応

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ 0 ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 予定表の配布、回収
【学校支援地域本部】
【児童クラブ】
【地域】 地域ボランティア、健康推進員
【企業・大学】
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】：講座内容は昨年と大きく変わらないが、出席ボードを作るなど違う角度から変化を加えられた。
【子どもの声】：「また来たい・したい」「次の講座もくる」など
【保護者の声】：子どもが楽しみにしている。
【スタッフの声】：次はこのようにするとよりよくなる。などアイデアをいただいている。

# 長浜市　長浜南土曜学び座　　長浜南小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ー | | 平日 | ー | | 26 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | ー |

## 活　動　内　容

小学校区内に３つの公民館があるため、それぞれの館の特色を活かして活動しています。企画や運営は開催館当番館だけでなくそれぞれの館もサポートしながら運営しています。また、地域の行事と重ね合わせながら、年間を通じ多彩なプログラムが組めるように考えています。春は「グラウンドゴルフ大会」や、「親子料理教室」。夏には「キャンプ」。秋には「運動会や文化祭」。冬になりますと、西黒田地区で採れた新そばを使った「そば打ち体験」、クリスマス前には「お菓子作り」、地域にある「長浜バイオ大学」での、実験教室。そして、雪の降る季節には神田山での「ソリ・スキー」、また地域の遊びに触れる「カロム大会」などなど季節感を取り込みながら活動しています。年度の最後には六荘公民館にて「長浜南土曜学び座祭り」と、題して創作体験などを開催してたくさんの子供達が参加してくれます。





## 教室の実施場所

基本小学校区内にある３つの公民館合同（西黒田・六荘・神田公民館）で開催。年に一度県外に行くこともあります。

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 長浜南小学校区児童
【参加人数】 平日　　（　ー　）人
土日・祝日　　（　430　）人
長期休暇　　（　ー　）人
※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　０　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
長浜南土曜学び座協議会の地域ボランチティアや土曜学び座のコーディネーター

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | 3 | | | 1 |
| 登録者数 | | | 3 | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 原則保護者の送迎。送迎ができない場合は近所の友達と誘い合って行く。

【緊急対応】いつでも連絡が取れるように申し込み時に連絡先を聞いておく

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（０　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】
【学校支援地域本部】
【児童クラブ】
【地域】 各　地区青少年健全育成会・子ども会・地域づくり・まちづくり協議会
【企業・大学】 長浜バイオ大学
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 年々参加者が減少傾向にあります。スポーツ少年団加入率が高く、練習や試合と重なるため、学び座に行きたくても行けない。子供がいるのではないか？

【子どもの声】: 参加してくれた子供はとても楽しそうに体験している様子。
一度来てくれるとリピート率も高い。

【保護者の声】: 家では避けがちな活動や創作でも体験させてくれるので嬉しいという声を聴く。

【スタッフの声】: 潜在的にいる学び座参加者に参加してもらって、
みんなと一緒に子供のうちにしかできない活動を体験して欲しい。

# 長浜市　　土曜学び座　　びわ北・びわ南小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ― | | 自由活動型 | ― | | 平日 | ― | | 14 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 1 日 |

## 活　動　内　容

・工作　マグネットクリップ、グラスデコ、
　　バスボム、名画をコラージュなど

マグネットクリップを作りましょう



多くの材料の中から自分の使いたいものを選ぶ。どの子もうまく材料を利用し、独創的な作品が作れた。

・体験　新お楽しみ会、遊びのフリマ
・料理　フィッシュバーガーとフルーツゼリー、親子でクッキングなど
・スポーツ　バドミントン
・実験　冷熱実験、地球にやさしいラーメン作り

冷熱実験



普段目にすることのできないことを実験で見せてもらった。実際体験すると具体的な意見が聞けると感じた。

## 教室の実施場所

びわ公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】
【参加人数】 平日　　（　　）人
　　土日・祝日　　（　500　）人
　　長期休暇　　（　127　）人
　　※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
講座内容、参加人数によってその都度、地域の方や公民館のボランティアグループにお願いする。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | 0～3 | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の送迎

【緊急対応】「土曜学び座安全管理マニュアル」に基づき対応。また、申込書提出時に連絡先の記入をお願いしている。
【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 予定表の配布・申込書の回収
【学校支援地域本部】 なし
【児童クラブ】 なし
【地域】 なし
【企業・大学】 なし
【その他】 ボランティアグループプ『サークル・キラリびわ』

## 事業を実施して

【成果と課題】: 体験の場、交流の場の提供。スタッフの確保が難しい。
【子どもの声】: 楽しかった。もっと作りたい。
【保護者の声】: レシピをもらったので私も作ってみます。
【スタッフの声】: 多くの子どもたちが興味を持ち参加してくれる講座を考えたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　湯田小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ― | | 自由活動型 | ● | | 平日 | ― | | 11 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 1 日 |

## 活　動　内　容

≪土曜学び座≫
【工作・絵画】
4月27日(土) アイロンビーズ
5月11日(土) 母の日のカード作り
6月29日(土) 羊毛フェルトのストラップ作り
7月31日(水) 夏休みの宿題作成教室
10月19日(土) マンダラぬり絵
11月10日(土) マグネットクリップづくり、
【料理】
5月25日(土) バームクーヘン作ってみよう
12月21日(土) ぷちノエルケーキを作ろう
2月チョコレート作り(予定)
【実験・観察】
6月8日(土) 地球にやさしい燃料電池をしろう



アイロンビーズ



バウムクーヘン



地球にやさしい燃料電池

## 教室の実施場所

長浜市立　湯田公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】湯田小学校生1年～6年　浅井認定幼稚園
【参加人数】平日　　(　　)人
土日・祝日　　(　130　)人
長期休暇　　(　　6　)人
※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】(　　)人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
講座の内容によっては、ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰや、地域の方々、保護者の方に協力をお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 1 | | | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】参加は保護者の送迎を原則とし、できない場合は、近所の友達と誘い合わせて参加するよう呼びかけています。
【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応しています。また、募集の際に連絡先を聞いておき、緊急時に連絡が取れるようにしています。
【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(　　)人

## 地域の機関等との連携

【学校】チラシの配布依頼・ポスター、見本の展示
【学校支援地域本部】　無し
【児童クラブ】　無し
【地域】　講師の依頼
【企業・大学】　無し
【その他】　無し

## 事業を実施して

【成果と課題】: 異年齢との交流や学校とは一味違う体験の場を提供できてよかった。今後も子ども達がいきいきと活動できる講座を考えていきたい。
【子どもの声】: 「毎回楽しみにしている」「かわいい作品ができて良かった」などの声があった。
【保護者の声】: 「こんな講座が開かれているのなら、今後も続けて参加させたい」という新一年生の保護者からの声や「童心に帰ってようでとても楽しかった。子供よりも親の方が夢中になってしまう」といった（子どもと一緒に
【スタッフの声】: 今後もさまざまなジャンルの中から、子ども達が興味を持つような講座を考え、子ども達の活動の場・体験の場を提供していきたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　田根小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ― | | 自由活動型 | ― | | 平日 | △ | | 24 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 5 日 |

## 活　動　内　容

毎月１回以上実施
・アイロンビーズ
・俳句づくりにちょうせん
・和紙ビーズのチョーカー
・フラワーアレンジメント
・がらたてづくり
・赤田亜由美さんの色ぬり教室
・日本の文化を学ぼう
・西池カヌー教室
・手づくりストラップ
・「たまりば」へ行こう
・和風パフェづくり
・塩の実験をしよう
・毛糸のポンポンづくり
・バスボムづくり
・新春お楽しみ会
・ハンドベル演奏
・きつねうどんづくり
・お菓子作り
・赤田亜由美さんとカードづくり
・ダンスレッスン
・ビーズアクセサリー作り





## 教室の実施場所

田根公民館
西池

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生
【参加人数】 平日　　（　 0　 ）人
　　土日・祝日　　（　117　 ）人
　　長期休暇　　（　 26　 ）人
※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
希望する場合はその都度個別に依頼

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | － | － | 0～2 | 0～2 |
| 登録者数 | － | － | － | － |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
原則として保護者による送迎

【緊急対応】
「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応

【配慮の必要な子どもへの対応】
必要に応じて声かけ等を行う
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 参加者募集チラシの配布と申込書の回収
【学校支援地域本部】　無し
【児童クラブ】　無し
【地域】地域づくり協議会、青少年健全育成会議
【企業・大学】 無し
【その他】 他公民館との情報交換

## 事業を実施して

【成果と課題】: 様々な内容のものが開催できた。今後も日時の設定や内容の吟味をする。
【子どもの声】: 参加者にはおおむね好評である。
【保護者の声】: 参加の保護者にはおおむね好評である。
【スタッフの声】: よりよい内容で企画・実施していきたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　下草野小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ● | | 平日 | △ | 年間開催日数 | 71 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ー | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 12 日 |

## 活　動　内　容

＜土曜学び座＞月1回企画し、開催
5月　ｱｲﾛﾝﾋﾞｰｽﾞ
6月　下草野ほたるまつりｉｎカラオケ大会
7月　浴衣着付け教室
8月　読書感想文のヒントここにあり／おもしろ実験教室開講
10月 子どもフリーマーケット
11月 スイーツづくりに挑戦
12月 クリスマスコンサートｉｎ下草野公民館／Ｋｉｄｓ書道教室
2月　マジシャンに挑戦

ｱｲﾛﾝﾋﾞｰｽﾞ⇒





←スイーツづくりに挑戦

＜あざいぷれすく２＞　年間を通して参加する講座で、子どもが中心となり、活動しています。毎回、楽しみにしてくれ、スキルアップをしています。また浅井地区全体の小学校対象の為、学区間、異年齢の子ども達同士のふれあいの場になっています。

将棋教室　年８回　　陶芸教室　年１１回
ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ教室　年８回　　ﾌｯﾄｻﾙ教室　月２回
ｷﾞﾀｰ&ﾍﾞｰｽﾚｯｽﾝ　年７回　ﾌﾗﾜｰｱﾚﾝｼﾞﾒﾝﾄ年４回
イラスト倶楽部　年9回





## 教室の実施場所

下草野公民館・浅井体育館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 下草野小学校児童　浅井地区小学生
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　（ 1228 ）人
長期休暇　（ 82 ）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】講座の内容によっては、地域の方々や保護者の方に協力をお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | 1 | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の送迎を原則とし、出来ない場合は声かけをし、気をつけて帰るよう指導している。

【緊急対応】『土曜学び座マニュアル』に基づき対応、募集時に連絡先を聞いておき、緊急時に連絡が取れるようにしている。
【配慮の必要な子どもへの対応】保護者の人や、子ども達に様子を聞いたり、自信が持てるように声かけをしてあげられるよう心がけています。

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 チラシの配布依頼・ポスターの掲示
見本の掲示
【学校支援地域本部】　無し
【児童クラブ】 無し
【地域】 地域が主催する事業・祭りなどと合同開催することもある。
【企業・大学】 無し
【その他】 無し

## 事業を実施して

【成果と課題】: 子ども達との交流やいろんな体験の場を提供できてよかった。日程が合わなく、来られない子がいたり、チラシを見てなかったという子もいて残念だが、学び座を楽しみにしてくれている子もいるため、今後も子ども達の目に留まるような講座を考えて、来てよかったと思ってもらえるよう考えていきたい。

【子どもの声】: 日程があわなく残念（スポ少や習い事で）、開催日がもっと早い方が良かった、楽しかった、また来たい、家でもつくってみたい。（スイーツづくり）

【保護者の声】: スイーツづくりが楽しかったようで、家でも作ってくれ、参加させてよかった。こういった事業があるのを知らなかったので、またいろいろ体験させたい。

【スタッフの声】: 今後も様々なジャンルの中から、子ども達が興味を持つような講座・役立つ講座を考え、子ども達の活動の場、体験の場を提供し、育成の手助けをしていきたい。

# 長浜市　土曜学び座　　上草野小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 10日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 1日 |

## 活　動　内　容

毎月1回開催
・和紙ビーズチョーカーつくり！
・プラ板
・色ぬり教室
・羊毛フェルトのストラップ作り
・グラスデコ
・ホットケーキのパフェ
・みつろうキャンドル
・らくやきマーカー
・ひな人形をつくろう！
・カフェランチ

グラスデコ



ホットケーキのパフェ



## 教室の実施場所

上草野公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生1年～6年生
【参加人数】 平日　　（　　0）人
　　土日・祝日　　（　108）人
　　長期休暇　　（　　3）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
　参加人数や講座内容によってｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰや他公民館の職員の方にお手伝いをお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | ー | ー | 0～1 | 0～1 |
| 登録者数 | ー | ー | ー | ー |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
　基本的に保護者の送迎

【緊急対応】
　土曜学び座安全管理マニュアルに基き対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】
　無

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】上草野小学校へチラシ配布、申し込み受け付け
【学校支援地域本部】 無
【児童クラブ】 無
【地域】 無
【企業・大学】 無
【その他】 無

## 事業を実施して

【成果と課題】：土曜学び座は定着してきているが、講座内容によって参加人数がかたよるのが今後の課題。

【子どもの声】：「次は何をするの？」と楽しみにしていている。

【保護者の声】：25年度で小学校が廃校になるが、今までどおり上草野公民館でも開催してほしい。

【スタッフの声】：今後も子どもたちが楽しく集える場所であり、地域の方と共にふれあえる場でありたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　七尾小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ー | | 平日 | △ | | 11 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 2 日 |

## 活　動　内　容

５月　　おりがみアート
６月　　勾玉作り
６月　　アイロンビーズ
７月　　キッズダンス
８月　　色ぬり教室
９月　　地球にやさしいラーメン作り
１０月　　バルーンアート
１１月　　バスボム作り
１２月　　プチケーキ作り
１月　　キッズダンス
２月　　未定





## 教室の実施場所

七尾公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】
【参加人数】 平日　　（　　０　）人
土日・祝日　　（　132　）人
長期休暇　　（　　17　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　０　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

内容や人数によって都度依頼。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | ー | ー | 0～1 | 0～1 |
| 登録者数 | ー | ー | ー | ー |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 参加は保護者の送迎を原則とし、出来ない場合は近所の友達と誘い合わせて参加するようよびかけている。
【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応。参加者の連絡先は申し込み時に記入してもらう。
【配慮の必要な子どもへの対応】 活動の様子を観察し、必要に応じて声掛け等行う。

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　０　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 参加者募集チラシの配布・申し込みの回収
【学校支援地域本部】 なし
【児童クラブ】 なし
【地域】 地域が主催する事業・祭りなどとの合同開催
【企業・大学】 なし
【その他】 他公民館との情報交換

## 事業を実施して

【成果と課題】: 子ども達の交流や色々な体験の場を提供できてよかった。今後も子ども達の意見や思いを取り入れながら考えて行きたい。
【子どもの声】: 「お菓子作り・ものつくりがしたい」「毎回楽しみにしている」「スポ少と重なるから行けない」
【保護者の声】: 子どもと一緒に参加して下さる保護者の方もおられ、子ども達と一緒に共感して下さっている。
【スタッフの声】: 今後も様々なジャンルの中から、子ども達が興味を持つような講座を考え、子ども達の活動の場・体験の場を提供していきたい。

# 長浜市　　土曜学び座　　湖北小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ー | | 平日 | ー | 年間開催日数 | 25 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 2 日 |

## 活　動　内　容

・造形あそび教室（公民館自主事業）
毎月第１土曜日開催
４月 フィルムケースをつかってはんこ
５～７月 粘土あそび
８～９月 ローラーあそび
10～12月 スクラッチ絵
１～2月 粘土あそび
３月 版画



・土曜学び座
毎月１～２回開催
４月 茶道を体験しよう
５月 まんげきょうをつくろう
６月 腹話術をしよう
７月 将棋を体験してみよう
８月 石けんデコパージュ
９月 冷やしうどんを作って食べよう
10月 ネイチャークラフト
11月 具たくさんお味噌汁をつくろう
12月 キッズクリスマス
１月 絵が飛び出すカードをつくろう
２月 からだをつかってあそぼう
３月 シュシュをつくろう





## 教室の実施場所

湖北公民館（厨房・会議室・和室・工房）
湖北文化ホール

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 1～6年
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　（ 430 ）人
長期休暇　　（ 54 ）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ 0 ）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
特になし

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | ― | ― | 1 |
| 登録者数 | 5 | ― | ― | 5 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の方に部屋までの送迎をお願いし、直接保護者の方に子どもを引き渡すようにしている。

【緊急対応】職員が普通救命講習を受講している。救急箱・AED装置を常備している。連絡先は周知している。

【配慮の必要な子どもへの対応】必要な場合は保護者から対応方法を聞いておく。

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ 0 ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 課題があれば連絡をとる

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域で活躍されている方・団体を講師として依頼

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

## 事業を実施して

【成果と課題】: 交流が少ない3校がいろいろな体験を通しながら異年齢交流をはかる事ができた。高学年が低学年を指導する姿も見られた。事業のなかで、地域の人を講師に迎えることがあり、地域の人との関わりを持つことができた。運動などスポーツ内容のプログラムに参加が少なく、内容の検討を行いたい。

【子どもの声】: 楽しい。毎回参加したい。

【保護者の声】: 子どもたちに、いろいろな体験をさせてもらえて嬉しい。

【スタッフの声】: 低学年の参加が多くうまく作業や調理ができるように配慮をしていくのは大変だが子どもたちのできあがりの声を聞くと嬉しい。創作力もすごい!子どもたちの姿を見ているとワクワクしてきます。子どもが楽しめる学び座でありたいです。

# 長浜市　　土曜学び座　　虎姫小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 12日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | |

## 活　動　内　容

○物づくり（グラスデコ、切り絵など）
○環境学習（びわこのヨシを使った工作）
○料理（がらたて、焼きドーナツ、パン焼き）





## 教室の実施場所

虎姫公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学1年～6年
【参加人数】平日　　（　　）人
　　土日・祝日　　（　300　）人
　　長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | | | | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】　保護者の送迎

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応している。毎回、参加者（保護者）の緊急連絡先の提出をお願いしている。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】　無し
【学校支援地域本部】　無し
【児童クラブ】　無し
【地域】　無し
【企業・大学】　無し
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】：講座のプログラムによっては、参加人数が変わる。魅力ある内容を企画するようにした。高学年の参加が年々減少しているが、１年～６年と幅がある子どもを対象にするのは難しいと感じる。

【子どもの声】：「楽しい」「おいしいお菓子ができた」

【保護者の声】：いろいろメニューを考えてもらって有りがたいですと言ってもらう。

【スタッフの声】：「焼きドーナツ」づくりで、参加者が多く２回に分け実施しました。そのとき、１回目に参加した６年生２人が２回目のお手伝いを残ってやってくれました。高学年が下の子どもたちの世話をしてくれることに感動しますし、もっと沢山の高学年が参加してくれるようになって欲しい。

# 長浜市　　土曜学び座　　高月小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 21 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | |

## 活　動　内　容

土曜学び座をクラブ化して、テーマごとに取り組み知識と技術を習得する。

1．コドモズ・キッチンクラブ

クラブのねらいは「子どもでもできるカンタン料理を学び、ママを安心、パパを感心させようと、子どもたちに人気の料理を年間通じて取り組んでいる。




2．きっず・アートクラブ

切り紙で美しい模様、写真で不思議な世界を表現するなど、絵・工作・デザインなどアートの楽しさを体験している。




3．こども・おけいこクラブ

古来よりお稽古事と呼ばれたいけばな・琴・茶道など日本の伝統文化にふれ、礼儀作法などもあわせて身に着けています。




## 教室の実施場所

高月公民館（長浜市高月町渡岸寺141-1）

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 高月地域内4小学校児童
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　　（　317　）人
長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】　1および2のクラブは資格を持つ人に年間講師として依頼。3のクラブは公民館サークルに依頼

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | ― | ― | ― | 2 |
| 登録者数 | ― | ― | ― | ― |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】　保護者による送迎

【緊急対応】 土曜学び座安全マニュアルに基づき対応。申込時に個々の連絡先を把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】 食物アレルギー等申込時に配慮の必要なことを聞き取りしている。
特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 富永・高月・古保利・七郷小学校
【学校支援地域本部】 無し
【児童クラブ】 無し
【地域】 高月地域づくり協議会
【企業・大学】 無し
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 年間通して１つのテーマで取り組むことで、知識や技術の習得が深まっている。年度初めに抽選によりクラブ員を決定したが、申し込みが予想より多く抽選漏れ児童への対応が課題

【子どもの声】: みんなと一緒にできとてもたのしいです。よその学校の人とも友達になれました。

【保護者の声】: 習った料理を家庭で作ってくれます、とても美味しくできました。我が子がたくましく感じられました。

【スタッフの声】: 子どもたちの成長が楽しみです。また、クラブ化したことで事務の軽減にもなりました。

# 長浜市　　土曜学び座　　木之本学区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 8 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

「自由に描く・創る・表現する」をテーマに年４～５回、キッズアートグループの協力を得て実施。　アートの力を借りて自分自身を大切にする心・仲間を思いやる心を育んでいます。
また、それとは別に紙や布・糸など自然のものを使っての小物作りや、スポーツなどを取り入れての体験学習も行っています。





## 教室の実施場所

公立木之本公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　　（　90　）人
長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

無し

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | | | ０～１ | １～２ |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 基本的に保護者での送迎

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応、参加申し込み時に連絡先記入

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 学び座チラシ配布・申し込み書回収
【学校支援地域本部】 無し
【児童クラブ】 無し
【地域】 木之本青少年育成会
【企業・大学】 無し
【その他】 無し

## 事業を実施して

【成果と課題】: 毎回異なる体験が出来て、子ども達も新鮮な様子。参加者が少なく固定化している。地域のボランティアの発掘が必要。
【子どもの声】: 学校とは違うことが出来てたのしい。
【保護者の声】: 子どもとの時間が共有出来ることがうれしい。
【スタッフの声】: もっと沢山の子ども達に参加してほしい。

# 長浜市　　土曜学び座　　余呉小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 14日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | |

## 活　動　内　容

４月
「大福つくりましょ」
５月
「名画をコラージュ」
６月
「七夕かざりをつくろう」
「ナンじゃこりゃ」
７月
「自分だけのうちわをつくろう」
「夏休みだぁ！水てっぽうで遊ぼう」
９月
「羊毛フェルトでストラップ」
１０月
「芸術の秋だ！楽しくのびのび絵を描こう第一回目」
「芸術の秋だ！楽しくのびのび絵を描こう第二回目」
１１月
「バスボムをつくろう」
１２月
「おもちつき大会」
「おはなし会＆クリスマス会」
１月
「未定」
２月
「余呉のそば粉でそば打ち体験in池原」





## 教室の実施場所

余呉文化ホール

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 余呉小学校1年～6年
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　（　344　）人
長期休暇　　（　　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

民生主任児童委員、鏡岡中学校ボランティア

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 0～2 | | 0～2 | 0～1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 原則として保護者で送迎。毎回チラシに記載。
【緊急対応】土曜学び座安全マニュアルに基づき対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】チラシ配布依頼、参加申込回収箱設置。
【学校支援地域本部】　無し
【児童クラブ】　無し
【地域】　無し
【企業・大学】　無し
【その他】文化芸術協会、福祉の会、サークル、社協との連携

## 事業を実施して

【成果と課題】: 色々な体験が出来て良かった。地域や学校との連携をもっととっていきたい。
【子どもの声】: 毎回学び座行くでー。楽しかった。
【保護者の声】: 色々な体験が出来て子どもも楽しみにしてる。来年もよろしくお願いします。
【スタッフの声】: 沢山の子どもが参加してくれて楽しかった。これからも色々と計画をしていきたい。

# 長浜市　土曜学び座　西浅井（塩津・永原）小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 15日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 2日 |

## 活　動　内　容

毎月1～2回開催

・土曜学び座です～学び座を体験してみよう！
・ラーメンづくり実験をしよう！
・ゆかたの着付け教室
・七夕ささかざりをつくろう！
・キラキラ☆ストーンデコ
・リサイクル楽器をつくろう！
・夏休み書道教室
・キッズサスケ
　～5種目のレースにチャレンジし王者を決定
　　平均台、時限爆弾、くるくるダッシュ、
　　ストラックアウト、円盤アック

時限爆弾



くるくるダッシュ



・かぼちゃのスイーツをつくろう！



・文化祭クラフト体験～マグネットクリップ
・フットサル～サッカー体験
・クリスマスキャンドルづくり
・おもちつき大会
・鬼ごっこ大会
・子どもヨガ&ストレッチ

## 教室の実施場所

・西浅井公民館
・西浅井運動広場体育館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生1年～6年
【参加人数】 平日　　（　　0　）人
　　土日・祝日　　（　300　）人
　　長期休暇　　（　　21　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　1　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
特に行っていないが参加人数や講座の内容によってコーディネーターや地域の方のお手伝いをお願いしている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | ー | 0～6 | 1 |
| 登録者数 | ー | ー | ー | ー |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
基本的に保護者の送迎。

【緊急対応】
土曜学び座安全管理マニュアルに基き対応。

【配慮の必要な子どもへの対応】
無し
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　1　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】塩津・永原小学校～チラシ配布、申込み受付
【学校支援地域本部】無し
【児童クラブ】 無し
【地域】 青少年育成会・子ども会・老人クラブ
【企業・大学】 大阪ガス
【その他】 無し

## 事業を実施して

【成果と課題】: 学び座は定着してきているので、今後も月2回の開催を目指したい。
【子どもの声】:「おもしろかった」「またやってな」「家でもつくってみたよ」など。
【保護者の声】:「楽しく参加しています」「前から体験してみたかったのでよかった」など。
【スタッフの声】: 子どもたちに、いろんな体験をしてもらえるような企画をし参加を呼びかけたい。

# 栗東市

連絡先
栗東市教育委員会　生涯学習課
TEL　077－551－0496
FAX　077－552－5544
E-mail　syogaigakusyu@city.ritto.lg.jp

## 1　運営委員会組織

運営委員会名

栗東市地域教育協議会

委員数　（１５）人

構成委員（所属・役職名）

各学区地域教育協議会委員長またはふれあい子ども広場スタッフ代表、学童保育指導委員、治田東小学校校長、PTA連絡協議会、民生委員児童委員協議会、社会教育委員、子育て応援課、学校教育課長補佐（事務局）生涯学習課

## 2　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 平成25年<br>6月27日（木） | 12 名 | 平成24年度「放課後子ども教室」推進事業報告及び決算<br>平成25年度「放課後子ども教室」推進事業計画及び予算<br>各「放課後子ども教室」の現状報告<br>各学区地域教育協議会との連携<br>情報交換 |
| 2 | 平成26年3月<br>（予定） | ― | 平成25年度「放課後子ども教室」の実施結果について<br>平成25年度「放課後子ども教室」のアンケート結果<br>次年度「放課後子ども教室」推進事業について<br>「土曜日教育活動推進」について<br>情報交換 |

## 3　広報

・参加者の募集チラシを各小学校へ配布。
・コミニュティーセンター広報誌に支援者募集を掲載

## 4　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

・コミュニティセンターが、地域の指導者と栗東市地域教育協議会事務局・コーディネーターとのパイプ役、地域の支援者の相談役となっているところもある。
・民生委員児童委員やスポーツ推進委員のなかには安全管理員として登録してくれているかたもいる。
・各小学校とは体育館の使用、備品の貸し出しや備品を置くスペースの提供、参加児童への呼びかけ、次月案内文の欠席者対応の協力、警報等で急遽取りやめなどの緊急対応の協力等。
・学童保育指導者への研修会への参加の呼びかけ。

## 5　スタッフの研修・ミーティングなど

・（ミーティング）各教室違うが、月に一度程度、安全管理員が集まり活動内容について話し合う教室がある。
・（情報交換会）現場メンバーを中心に、各教室の実施内容やその効果、事故例などの情報を共有する会の実施。

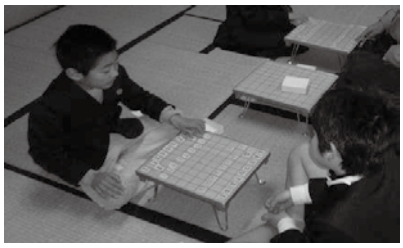
# 栗東市　葉山東ふれあい子ども広場　葉山東小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ● | | 自由活動型 | ● | | 平日 | ● | | 33 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ― | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容



【スケジュール】
①出席確認　②宿題　③囲碁・将棋、クラフト、スポーツ　④お迎え
3グループに分かれて実施。「囲碁・将棋」「クラフト」はコミニュティーセンター葉山東、「スポーツ」は体育館で行う。
「囲碁・将棋」は初心者向けの基礎、「クラフト」は折り紙、塗り絵、手芸など、「スポーツ」はドッジボール・縄跳び・バトミントン・卓球などを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。学期末に全員でお楽しみ会を開きグループ変えをする。





## 教室の実施場所

・葉山東小学校体育館
・コミニュティセンター葉山東

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　1～6年
【登録人数】　39名
【参加人数】　平日　（１０５０）人
土日・祝日　（　０　）人
長期休暇　（　０　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（０）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
募集チラシの学校配布、コミセン設置により募集、友人知人、保護者への直接参加呼かけ等

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | 11 | | | |
| 登録者数 | 16 | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えを参加条件にしている。地域の方が付き添って帰宅する場合もある。

【緊急対応】安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフの保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（０）人

## 地域の機関等との連携

【学校】学校施設の調整や緊急時の対応。月末配布の実施日案内文書の欠席者対応協力。

【学校支援地域本部】特になし

【児童クラブ】特になし

【地域】コミセン施設の協力（囲碁将棋、クラフト）指導委員スタッフとの連絡調整。休みの対応。コミセン事業との連携（地域行事）

【企業・大学】特になし

【その他】地域老人クラブ等

## 事業を実施して

【成果と課題】：地域の子どもを地域で育てる取り組みとなってきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動になるようにしていく。
【子どもの声】：友達に会えて楽しい。お楽しみ会が楽しい。
【保護者の声】：地域の皆さんにお世話になっています。ありがとうございます。
【スタッフの声】：安全面に気をつけて元気に活動してほしい。行儀などの意識も持たせたい。

# 栗東市　はるたっこ広場　治田小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ● | | 自由活動型 | ● | | 平日 | ● | | 27 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | △ | | 土日・祝日 | ― | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容



【スケジュール】
①出席確認　②宿題　　③ラジオ体操　④自由遊び　⑤お迎え
授業終了時間が早い低学年はコミニュティーセンター治田に集まる。体育館が空いたら移動。主に縄跳び・バトミントン・ボール投げ・折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。
スタッフの提案の遊びや季節の催し（七夕・クリスマスなど）も計画して取り入れている。
治田学区地域教育協議会主催
通学合宿「治田宿」開催（2泊3日）





## 教室の実施場所

・治田小学校体育館
・コミニュティセンター治田

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　１～６年
【登録人数】　64名
【参加人数】　平日　　（１４８０）人
　　土日・祝日　（　０　）人
　　長期休暇　（　０　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（１）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われての人も。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | ８ | | | |
| 登録者数 | ９ | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えを参加条件にしている。他地域の方が付き添って帰宅する場合もある。

【緊急対応】安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフの保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】
　安全管理員が基本的に付き添っている
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（1）人

## 地域の機関等との連携

【学校】学校施設の調整や緊急時の協力体制など参加の子どもたちとの連絡調整。
【学校支援地域本部】 特になし
【児童クラブ】 特になし
【地域】コミセンとの連携、地域民生委員の参加
【企業・大学】特になし
【その他】特になし

## 事業を実施して

【成果と課題】：異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続的な活動になるようにしていく。
【子どもの声】：ボール遊びや折り紙などが楽しい。スタッフの人が遊んでくれて楽しい。
【保護者の声】：元気に遊んで子どもも楽しそうに帰ってきます。
【スタッフの声】：安全に配慮し子ども達を、ルールを守る中で自由に遊ばせたい。

# 栗東市　チャレンジはるひがっこ　治田東小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ● | | 自由活動型 | ● | | 平日 | ● | | 31 日 |
| | 学校外 | △ | | プログラム型 | △ | | 土日・祝日 | ― | うち長期休暇日数 | 1 日 |

## 活　動　内　容



【スケジュール】
①出席確認　②宿題　　③ラジオ体操　④自由遊び　⑤お迎え
主に縄跳び・バトミントン・ボール投げ・折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。
季節の催し（七夕・クリスマスなど）も計画して取り入れ、お誕生日のお祝いもしている。



## 教室の実施場所

・治田東小学校体育館
・コミニュティセンター治田東

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　1～6年
【登録人数】　44名
【参加人数】　平日　　（１２５０）人
　　土日・祝日　（　０　）人
　　長期休暇　　（　３８　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（０）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。現参加スタッフの引継ぎ参加。参加者への文書等での継続募集。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | 10 | | | |
| 登録者数 | 13 | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えを参加条件にしている。地域の方が付き添って帰宅する場合もある。

【緊急対応】安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフの保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（０）人

## 地域の機関等との連携

【学校】学校施設の調整や緊急時の協力体制など参加の子どもたちとの連絡調整。
【学校支援地域本部】　特になし
【児童クラブ】　特になし
【地域】コミセンとの連携、地域民生委員の参加
【企業・大学】　特になし
【その他】　特になし

## 事業を実施して

【成果と課題】：上学年が下の子どもたちを面倒見ながら、自立心を養っている。
スタッフの不足は、慢性的な課題

【子どもの声】：ボール遊び、折り紙などが楽しかった。スタッフの人が遊んでくれて楽しい。

【保護者の声】：異学年の交流ができる場所なので大変良いと思う。

【スタッフの声】：安全に気をつけて子ども達にいろいろなことを体験させてあげたい。

# 栗東市　治西のびのび広場　治田西小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ● | | 自由活動型 | ― | | 平日 | ● | | 30 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | △ | うち長期休暇日数 | 5 日 |

## 活　動　内　容



【スケジュール】
①出席確認　②活動　③お迎え・分団下校・地域のかたと帰宅
ニュースポーツ、工作、季節に合わせた催し、平和学習、地域の祭りで合唱の発表などを行う。



## 教室の実施場所

・治田西小学校体育館（プール）
・コミニュティセンター治田西
・B&G海洋センター（野洲）＊校外学習

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　1～6年
【登録人数】　45名
【参加人数】　平日　　（１２００）人
　　土日・祝日（　０　）人
　　長期休暇　（１７５）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（３）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。現参加スタッフの引継ぎ参加。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | ８ | | | |
| 登録者数 | 12 | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者のお迎えが基本。分団下校、地域の方が付き添って帰宅する方法をとっている。

【緊急対応】　安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフの保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】
　保護者、安全管理員が付き添っている
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（３）人

## 地域の機関等との連携

【学校】小学校教師も安全管理委員として参加。
児童への開催案内作製・配布活動の計画立案

【学校支援地域本部】 特になし

【児童クラブ】特になし

【地域】学区民生委員の方が参加し。コミュニティセンターと連携したスタッフとの連絡調整・道具の保管などの協力関係

【企業・大学】 特になし

【その他】スポーツクラブとのコラボ、地域の行事に積極参加

## 事業を実施して

【成果と課題】：学校・地域・保護者が連携して子どもを育てる取り組みとなってきている。協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らして継続した活動となるようにしていく。

【子どもの声】：ニュースポーツが楽しかった。

【保護者の声】：いろいろな体験をさせてもらえてよかった。

【スタッフの声】：子ども達が楽しく活動できるようにしたい、学校の協力がありがたい。

# 栗東市　大宝わくわくタイム　大宝小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ● | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ● | 年間開催日数 | 22 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ー | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ー | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容



【スケジュール】
①出席確認　②宿題　③ラジオ体操　④メニュー遊び　⑤ドッジボール　⑥お迎え
紙飛行機、七夕飾り・クリスマクラフトづくりなど季節に関係する工作やじゃんけんリレー、グラスゴルフ、大玉ころがしなどの運動を子どもたちの要望をもとにスタッフで計画し実施。上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。





## 教室の実施場所

・大宝小学校体育館
・コミニュティセンター大宝
・大宝神社等

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　1～3年
【登録人数】　62名
【参加人数】　平日　（１１１６）人
土日・祝日　（　０　）人
長期休暇　（　０　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（０）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。現参加スタッフの引継ぎ参加。募集チラシの学校配布、参加者文書等での継続募集。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | ９ | | | |
| 登録者数 | 11 | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えを参加条件にしている。地域の方が付き添って帰宅する場合もある。

【緊急対応】　安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフの保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（０）人

## 地域の機関等との連携

【学校】学校施設の調整や緊急時の協力体制など参加の子どもたちとの連絡調整。
【学校支援地域本部】　特になし
【児童クラブ】　特になし
【地域】コミセンとの連携、地域民生委員の参加
【企業・大学】　特になし
【その他】マジック等地域サークルの招聘、近代美術館事業招聘（ビックリコラージュ）

## 事業を実施して

【成果と課題】：異学年の交流、リーダーの役割を学んでいる。年間の事業計画が上手く立てられた。スタッフ指導員のスキルアップを継続して行うこと
【子どもの声】：いろいろなことが体験できて楽しい。スタッフの人と遊んで楽しい。
【保護者の声】：子どもが楽しそうでよかった
【スタッフの声】：自分たちも楽しみながら、安全で楽しい場所にしていきたい

# 栗東市　大宝西ふれあい子ども広場　大宝西小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ● | | 自由活動型 | ― | | 平日 | ● | | 29 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ― | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容



【実施日】
　毎週水曜日　＊学校との調整あり
【スケジュール】
　①出席確認　②宿題　③自由遊び④お迎え
【内　容】
・自由遊びの場合、主に縄跳び・バトミントン・ボール
　投げなどの軽スポーツと折り紙・クラフトなどを子どもた
　ちが自由に選択し遊ぶ。
・季節の催し（七夕・ハロウィン・クリスマス・節分など）
・平和学習なども取り入れ、話を聴く会など
・誕生日会などをして交流を深める工夫を
・4グループ分け上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。
・国際交流とのコラボで外国のアーティスト



## 教室の実施場所

・大宝西小学校体育館
・コミニュティセンター大宝西

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　1～3年
【登録人数】　41名
【参加人数】　平日　　（906）人
　　土日・祝日　　（　0　）人
　　長期休暇　　（　0　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ 0）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】募集チラシの学校配布、コミセン設置により募集、友人知人、保護者への直接参加呼かけ等

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 14 | | | |
| 登録者数 | 16 | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えを参加条件にしている。近い地域の方が付き添って帰宅する場合もある。

【緊急対応】
安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフのスポーツ安全保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（0）人

## 地域の機関等との連携

【学校】学校施設の調整や緊急時の協力体制など参加の子どもたちとの連絡調整。

【学校支援地域本部】特になし

【児童クラブ】特になし

【地域】コミセンとの連携、地域民生委員の参加

【企業・大学】特になし

【その他】
国際交流協会、スポーツ推進委員とのコラボ

## 事業を実施して

【成果と課題】：上学年はリーダーとしての役割を学んでいる。子どもを地域で育てる取り組みとなってきている。協力者、指導者の確保に努め、スタッフ一人当たりの負担を軽減。

【子どもの声】：いろいろなことが体験できて楽しい。スタッフの人と遊べて楽しい。

【保護者の声】：いろいろな体験をさせていただいて感謝しています。

【スタッフの声】：体験を通じていろんなことにチャレンジすることの楽しさを知ってほしい。

# 栗東市　さんさん・キッズ　大宝東小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ● | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | ● | 年間開催日数 | 25 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ― | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ― | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容





【スケジュール】
①出席確認　②宿題　③ラジオ体操　④自由遊び⑤お迎え
　体育館でドッジボール・バスケット・フラフープ・縄跳び・ボール遊び、コミュニティルームで本読み・折り紙・お絵かきなど子どもたちが自由に選択し遊ぶ。



## 教室の実施場所

・大宝東小学校体育館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　1～3年
【登録人数】　62名
【参加人数】　平日　　（１４２０）人
　　土日・祝日　　（　　０　　）人
　　長期休暇　　（　　０　　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数（０）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。現参加スタッフの引継ぎ参加。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | 15 | | | |
| 登録者数 | 19 | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者の迎えを参加条件にしている。地域の方が付き添って帰宅する場合もある。

【緊急対応】安全管理マニュアル・救急箱を用意。連絡体制、連携確認（学校、保護者、行政、病院等）参加者・スタッフの保険加入

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（０）人

## 地域の機関等との連携

【学校】学校施設の調整や緊急時の協力体制など参加の子どもたちとの連絡調整。

【学校支援地域本部】 特になし

【児童クラブ】特になし

【地域】学区民生委員の方の参加あり

【企業・大学】 特になし

【その他】 特になし

## 事業を実施して

【成果と課題】：子どもたちは異学年の交流、地域の指導者の皆さんと接する中、リーダーとしての役割を学んでいる。地域で育て、守る機運ができている。希望者が多く受入れがフル状態。

【子どもの声】：いろんな遊びができて楽しい。ドッヂボールが楽しい。

【保護者の声】：お迎えの時など地域のかたとふれあえ、情報交換が出来て良い事業だと思う。

【スタッフの声】：子どもたちといろいろな経験を一緒にしたい。怪我な安全に活動できるようにしたい。

# 甲賀市

連絡先
甲賀市教育委員会　社会教育課
TEL　0748-86-8021
FAX　0748-86-8380
E-mail　koka30104500@city.koka.lg.jp

## 1　運営委員会組織

運営委員会名

甲賀市放課後子どもプラン
運営委員会

委員数　（　１１　）人

構成委員（所属・役職名）

放課後児童クラブ関係者、社会教育委員、PTA 役員、民生委員児童委員、主任児童委員
学校関係者、行政職員

## 2　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 3月実施予定 | | 実績報告と次年度の予定 |

## 3　広報

小学校を通じ募集チラシの配布
自治会に開催のお知らせ

## 4　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

特になし

## 5　スタッフの研修・ミーティングなど

自然体験活動担当職員研修
①「子どもの体験活動を安全に進めるために」～充実した取組をめざして～
②事業実施における責任体制と書類および下見の必要性
～自然体験活動事業の企画から事業評価のポイントについて～
③野外活動等における危険要素～応急手当から救急措置まで～
④子どもたちの安全な自然体験活動の実施に向けて（実技研修）
～事業を安全かつ効果的に実施する～
⑤子どもたちの安全な自然体験活動の実施に向けて（実技研修）
～海や川での安全対策～
⑥甲賀市青少年活動安全誓いのつどい「自然体験活動の安全管理」

# 甲賀市水口子ども教室 水口・綾野・貴生川・伴谷・岩上小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ― | | 自由活動型 | ― | | 平日 | ― | 年間開催日数 | 14 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 4 日 |

## 活　動　内　容

【親子ふれあい講座】
・水口細工を作ろう、曳山に乗って水口囃しを体験しよう、動くおもちゃ作り、図書館を探検しよう、秋の里山でわくわく探検、知ってますか八田焼、昔の遊びを体験しよう、親子でパン作り。
【子ども公民館講座】
・曳山に乗って水口囃しを体験しよう、押し絵を作ってみよう、ホットサンドイッチとフルーツポンチをキャンプ場で作ろう(防災学習)、指で絵をかいてみよう、クリスマスケーキを作ってみよう。







## 教室の実施場所

水口中央公民館、水口中部コミュニティセンター、水口スポーツの森、みなくち子どもの森、水口図書館、他

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学校1～6年生
【参加人数】 平日　　(　―　)人
土日・祝日　(　192　)人
長期休暇　　(　69　)人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】(　―　)人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
小学校へのチラシ配布、市民センター、公民館へのチラシ配布・ポスター掲示、市民センターだよりへの記事掲載

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 登録者数 | 0 | 0 | 0 | 0 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者に送迎をしていただいている。

【緊急対応】
スタッフは、普通救命講習を修了。AED・救急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業においては、下見(事前現地確認)、下見報告書安全対策計画書によりリスク管理を行う。その内容については、打合せによりスタッフ間で共有する。

【配慮の必要な子どもへの対応】
保護者からの申し出により聞き取りを行う。
◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(　―　)人

## 地域の機関等との連携

【学校】募集チラシの配布依頼
【学校支援地域本部】なし
【児童クラブ】なし、【地域】 講座開催場所
【企業・大学】なし、【その他】なし

## 事業を実施して

【成果と課題】: 地域の伝統芸能や産業の体験を行い、地域のことを知ってもらうきっかけになった。また教育人材バンク登録者や自主学習団体に講師をお願いしたことで、それらの方達の学習成果の場ともなった。今後もさらに地域の人やモノを活かした社会教育の推進をする。

【子どもの声】: ・押し絵は千年以上前の伝統工芸なのを知ってびっくりしました
・たくさんの押し絵、大きい押し絵をやってみたい
・非常事態でどんなものを作れるのかを知りたい・もっとマッチを使いたい
・指で絵をかくことで、きれいな絵ができるなんて知りませんでした・じょうずにできたからびっくりしました

【保護者の声】: ・水口細工を知りませんでした。学校の図工で子供達へ教えてほしいです。・(心に残ったことは)なかなか乗ることのできない曳山に乗せて頂けたこと。短時間でとても素敵なお囃子ができたこと。・廃材で簡単におもちゃが作れること。なかなか家庭ではできない思いつかないことを今回子供と一緒に体験できて良かった。・子どもと一緒に本を借りに来るだけでなく、図書館の楽しさを感じられました。・鳥の声、風の音、色々な草をゆっくりと観察できました。日ごろ目が届かないところを見ることができました。・八田焼の文化にふれられて楽しかった。

【スタッフの声】: 体験活動を通して、さまざまな人やモノ、知識や技術と出会うことで、地域や自身についての新たな発見やより深く学んでいきたいという気持ち、そしてさまざまな人達と交流を育んでいくきっかけになればと思います。また事業を通して親と子が互いの長所を知ることで、より絆が深めていけるきっかけとなりましたら幸いに思います。

# 甲賀市 土山子ども教室 大野・土山・山内・鮎河小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ― | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 3 日 |

## 活　動　内　容

▼あいの土っこ“きらねっ人”いきいき活動
　地域の大人が指導者・スタッフとなり、さまざまな体験活動を行っています。

・特産品や季節に応じたおやつづくり
・作品制作（糸まき車、スライム、バルーンアート、石けんアート、クリスマス飾り、絵手紙）
・ふれあいあそび（カロム、お手玉、紙芝居）







▼親子ふれあい講座
　親子で料理体験（お菓子等）をし、力を合わせ「ものづくり」をとおして絆を深めます。
・料理体験（ピザ、フルーツパフェ、デコクッキー、デコレーションケーキ）



## 教室の実施場所

大野公民館、土山中央公民館、山内公民館、鮎河公民館、土山開発センター、土山森林文化ホール、大野小学校同窓会館、東海道伝馬館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 保育園児・小学校1～6年生児童と保護者
【参加人数】 平日　　（　57 ）人
　　土日・祝日　（　200 ）人
　　長期休暇　　（　57 ）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ 0 ）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
　ボランティアバンクに約30人の登録があり、事業への参加はその都度登録者に案内し、協力を求めている。
【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 1 | ― | 4 | 1 |
| 登録者数 | 1 | ― | 4 | 1 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
　保護者に送迎していただいている。
【緊急対応】
　AED・救急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、必要な場合は連絡をとる。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業については下見を実施する。
【配慮の必要な子どもへの対応】
　保護者からの申し出により、個別に対応している。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ 0 ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 募集チラシの配布依頼
【学校支援地域本部】 なし
【児童クラブ】 参加の呼びかけ
【地域】 文化祭などの地域行事への参加
【企業・大学】 なし
【その他】 なし

## 事業を実施して

【成果と課題】: さまざまな体験活動の機会であるとともに親子でのふれあいの機会となっている。事業運営はボランティアスタッフが中心を担っているため、スタッフの後継者育成も必要である。

【子どもの声】:
・楽しかった。
・上手にできてよかったです。
・新しい友だちができてよかった。

【保護者の声】:
・自宅ではなかなかできない体験でよかった。
・大人も楽しめました。

【スタッフの声】: 年々、参加者が減少傾向にあり、内容のマンネリ化も課題のひとつである。地域のヒト・モノを生かしながら、新しい体験活動（メニュー）を取り入れるなどの工夫が必要である。

# 甲賀市信楽子ども教室　信楽・雲井・小原・朝宮・多羅尾小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ― | | 自由活動型 | ― | | 平日 | ― | 年間開催日数 | 8日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 1日 |

## 活　動　内　容

《物づくり夢工房》
・手の技をみがこう
・ランドヨット作り
・かざぐるま作り
・モビール作り
　　等







## 教室の実施場所

信楽中央公民館　他

## 参加対象学年・参加人数

**【対　　象】** 小学生1～6年生
**【参加人数】** **平日**　　（　―　）人
**土日・祝日**　（　33　）人
**長期休暇**　（　16　）人
※延べ参加者数
**【特別支援が必要な子どもの参加人数】**（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

**【採用・募集方法】**
特に募集はせず、特定の技術を持った人に個別に依頼している。

**【スタッフ配置人数】**

| | 安全管理員 | 学習アドバイザー | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 4 | ― | ― | 1 |
| 登録者数 | ― | ― | ― | ― |

## 安全管理・配慮事項

**【送迎】**
保護者に送迎して頂いている

**【緊急対応】**
スタッフは、普通救命講習を終了。AED・救急箱を用意。
保護者に事前に緊急連絡先を聞いておき、連絡を取る。
館外事業については、下見を実施。

**【配慮の必要な子どもへの対応】**
保護者、学校から聞き取りを行い、個別に対応する。

**◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人**

## 地域の機関等との連携

**【学校】 無し**
**【学校支援地域本部】**　無し
**【児童クラブ】** 無し、**【地域】** 無し
**【企業・大学】** 無し、**【その他】** 無し

## 事業を実施して

**【成果と課題】**：様々な講座を通して、参加児童それぞれの創意工夫を引き出せたことは成果として挙げられるが、対象学年が低学年（1年）～高学年（6年）と広く、成長度合が違う対象に対してのスタッフの支援体制に難しさを感じた。

**【子どもの声】**：物づくりは結構難しいけど、楽しかった。

**【保護者の声】**：講座に参加して、学校や家ではできないことが経験できたように思う。

**【スタッフの声】**：講座を通して、子どもならではの創意工夫を見ることができて、逆に刺激になる部分もあった。

# 甲賀市甲南子ども教室甲南第一・第二・第三・中部・希望ヶ丘小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ― | 開催日 | 平日 | △ | 年間開催日数 | 15日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 7日 |

## 活　動　内　容

①親子・家族のわくわく講座　7回／年
・料理や工芸、工作などの共同体験を通して、親子・家族のきずなを深める。
　○自然体験活動　○親子料理教室
　○パン屋さんでパン作り　○天体観望会
　○凧づくり　○バレンタインのお菓子づくり

【パン屋さんでパン作り】



【自然体験活動】



②夏・秋・冬のこども体験講座
・こどもたちに体験と出会いの場を提供し、生きる力と知恵を育む。
　○夏のこども体験講座（科学的要素を取り入れたミニ実験とものづくりなど）
　○秋のこども体験講座（アロマ石けん作り）
　○冬のこども体験講座（お菓子づくりやレザークラフト教室など）

【夏のこども体験講座（手漉きはがき）】



## 教室の実施場所

・甲南公民館・杉谷公民分館・柑子公民分館
・かえで会館・甲南町青少年センター
・希望ヶ丘防災コミュニティセンター　ほか

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】①親子・家族のわくわく講座
　　4歳～小学3年生までの児童と保護者
　②夏・秋・冬のこども体験講座
　　小学3年生～小学6年生の児童
【参加人数】平日　　（　－　）人
　　土日・祝日　　（140　）人
　　長期休暇　　（　93　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　2　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】なし
【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | | | 1 |
| 登録者数 | | | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
・会場の校区外から参加する場合と小学2年生以下の子どもは保護者の送迎を条件としている。
【緊急対応】
・AED、救急箱を用意　・保護者から緊急連絡先を聞いておき連絡を取る。・安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。・館外事業については下見を実施。
【配慮の必要な子どもへの対応】
・館外事業や飲食等を伴う事業は、事前に健康調査票を提出いただき、アレルギー等についてスタッフ間で情報を共有する。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　2　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】　チラシ配布を依頼
【学校支援地域本部】　無し 、【児童クラブ】　無し
【地域】　無し
【企業・大学】　夏のこども体験講座では、毎年地元の甲南高校の先生と生徒に講師や協力者として指導いただいている。
【その他】　保育園、幼稚園へチラシ配布を依頼

## 事業を実施して

【成果と課題】：子どもの講座は比較的たくさん参加していただいたが、冬場の親子の講座で参加者が少ないため中止にした講座があった。親子の講座は対象が保育園や低学年は参加率は良いが高学年になるとなかなか親子で参加しない。講座の内容や対象を検討し来年度に反映させたい。

【子どもの声】：・友だちと一緒にできて楽しかった。
・学校で習わないことを教えてもらって良かった。

【保護者の声】：・普段体験できないことができて良かったです。
・子どもと一緒に過ごせて良かった。

【スタッフの声】：・今後も、一人でも多くの方に様々な出会いや体験の場を提供していければと思います。

# 甲賀市　甲賀子ども教室　大原・油日・佐山　小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ― | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 24日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 5日 |

## 活　動　内　容

KOKA楽こども公民館
　さまざまな文化活動や自然体験活動などを楽しく体験する。

①お菓子づくり教室　4回
　ものづくりに対する関心や興味を深めるとともに、グループ活動を通じて仲間づくりをする。



②茶道教室　4回
　伝統文化に対する関心や興味を深め、作法を学ぶ。

③こども天文クラブ　9回
　大型天体望遠鏡による観望や講習を通じて天文知識の向上を図るとともに、子どもたちの親睦を深める。



④甲賀★忍者隊　9回
　異年齢の子どもたちがものづくりや自然体験などの様々な活動を通じて創造性を育むとともに、自主性や協調性を養いながら仲間づくりをする。



## 教室の実施場所

甲賀公民館（かふか生涯学習館）、甲賀創健館
高間みずべ公園
大津市科学館、名古屋市科学館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学校1～6年、中学校1～3年
　　（事業により制限あり）
【参加人数】 平日　　（　　－　）人
　　土日・祝日　（　324　）人
　　長期休暇　　（　　95　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
　地域住民に声かけを行い、ボランティアとして参加協力いただいている。
【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | ― | ― | 1～3人 | 1人 |
| 登録者数 | ― | ― | ― | ― |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
　保護者による送迎
【緊急対応】
　AED及び救急箱の用意。保護者の携帯番号など緊急連絡先の確認。安全対策マニュアルの作成及びスタッフ間での共有。館外事業における下見の実施。
【配慮の必要な子どもへの対応】
　多動傾向の強い子どもに対しては、特に注意を払うようにしている。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】　募集にかかるチラシ配付協力依頼。受講者氏名の学校への連絡。
【学校支援地域本部】 無し
【児童クラブ】 無し
【地域】 無し
【企業・大学】 無し
【その他】 無し

## 事業を実施して

【成果と課題】: スタッフや地域住民とも活発な交流が図られている。また、継続して受講している子どもは知識も深まり、リーダーシップも発揮しつつある。しかし、一部事業についてはスタッフの確保が困難となり、活動内容が制限される部分がある。

【子どもの声】: いろいろな体験ができて楽しい。みんなで協力することの大切さがわかった。

【保護者の声】: 毎回、喜んで参加しており、楽しかったと言っている。活動内容にも期待している。

【スタッフの声】: 危険回避、安全確保に細心の注意を払いながらの実施を心がけている。また、子どもたちとのコミュニケーションも楽しみながら参加させてもらっている。

# 野洲市

連絡先
野洲市教育委員会　生涯学習スポーツ課
ＴＥＬ　077-587-6053
ＦＡＸ　077-587-3835
E-mail　syougai@city.yasu.lg.jp

## 1　運営委員会組織

運営委員会名

野洲市地域教育協議会

委員数　（　１７　）人

構成委員（所属・役職名）

野洲市社会教育委員、野洲市青少年育成市民会議会長、野洲学区青少年育成課委員、三上地域教育推進委員会地域教育推進サポーター、祇王学区青少年育成会議副会長、篠原地域子ども教室運営協議会会長、北野学区青少年育成会会長、中里学区青少年育成会議会長、野洲学区わくわく子どもクラブ事務局、三上地域教育推進委員会事務局、祇王子どもクラブ事務局、篠原地域子ども教室運営協議会事務局、北野っ子フレンドリークラブ事務局、中主地域子ども教室運営協議会事務局、小学校校長会、小学校教頭会

## 2　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 平成25年<br>5月17日 | 17名 | (1)平成24年度 野洲市放課後子ども教室の実施結果について<br>(2)平成25年度 野洲市放課後子ども教室実施状況について |
| 2 | 平成26年<br>2月実施予定 | 17名 | (1) 平成25年度 野洲市放課後子ども教室の実施状況について<br>(2) 平成26年度 野洲市放課後子ども教室の概要について |

## 3　広報

①参加者募集チラシ配布…各学区ごと、コミュニティセンターから小学校に配布
②参加者募集チラシ配布…各学区ごと、コミュニティセンターから学区内世帯に配布
③地域の青少年育成会議等に指導者・安全管理ボランティアの協力依頼

## 4　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

・野洲市青少年育成市民会議　　・学区青少年育成会議　　・民生児童委員
・健康推進員　　・体育振興会

## 5　スタッフの研修・ミーティングなど

地域子ども教室の諮問機関である『地域教育協議会』において、事業内容の情報交換などを年2回行っている。

# 野洲市　中主地域子ども教室（中里）　中主小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | － | 活動の特徴 | 自由活動型 | － | 開催日 | 平日 | － | 年間開催日数 | 20 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 5 日 |

## 活　動　内　容

### 茶道クラブ



月1回活動。
裏千家の作法を学ぶ。

### 手芸クラブ



月1回活動。
糸の止め方など初歩から学び、簡単な作品作りを行っている。

## 教室の実施場所

コミュニティセンターなかさと

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生以上
【参加人数】 平日　　（　－　）人
土日・祝日　（　101　）人
長期休暇　　（　35　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
中主地域の小学校全生徒へチラシ配布。学区自治会へチラシ配布回覧やポスター掲示を依頼。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | － | － | － | 1～2 |
| 登録者数 | － | － | － | 3 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
保護者の判断に任せている。

【緊急対応】スタッフは、基本的救急法講習を受講。救急箱は用意。保護者から連絡先を聞いておき、連絡する

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】　教室のチラシの配布依頼。
【学校支援地域本部】　無
【児童クラブ】　無
【地域】　無
【企業・大学】　無
【その他】　無

## 事業を実施して

【成果と課題】: 子ども達に根付いているものもあるが、教室によっては参加人数が少ないこと。

【子どもの声】: お茶菓子が楽しみ。自分で作る事が楽しい。

【保護者の声】: 手軽に学ばすことができ、助かっています。

【スタッフの声】: 習熟度にバラツキがあるので、教えるのが難しい事と集中力を持続させる事。

# 野洲市　中主子ども教室（兵主）　中主小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ― | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 46 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 12 日 |

## 活　動　内　容



「春を食べようの会」
春の野山に野草を摘みに出かけ、採取した野草を
天ぷらなどに調理しておいしく味わうことができました。





「エコキャンドル作り」廃油を利用したキャンドル作りに挑戦しました。楽しくエコの学習ができました。



## 教室の実施場所

コミュニティセンターひょうず

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学1年～6年生
【参加人数】平日　　（　　０　）人
　　土日・祝日　　（　600　）人
　　長期休暇　　（　150　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　０　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】地域の青少年育成会議の委員、健康推進員、自治会長

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 1～3 | － | 2～5 | 1～5 |
| 登録者数 | 10 | － | 30 | 20 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
保護者の車による送迎

【緊急対応】
携帯電話に連絡をする。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　０　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】必要であれば連絡する。
【学校支援地域本部】無し
【児童クラブ】無し
【地域】教室の支援をお願いしている。
【企業・大学】無し
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】：小学１年～６年生までが遊びを通して仲良く互いを思いやる気持ちが生まれる。
【子どもの声】：毎月、参加するのを楽しみにしている。
【保護者の声】：兄弟一緒に参加できるので安心できるし、子どもも喜んで参加している。
【スタッフの声】：地域の方に教室のお手伝いを依頼しているが、実際には参加が少ない。

# 野洲市　篠原地域子ども教室　　篠原小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ー | | 平日 | ー | 年間開催日数 | 96 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 10 日 |

## 活　動　内　容





**①河内の風穴へ行こう！**多賀町にある「河内の風穴」へバス遠足。洞内温度が１２℃ごつごつとした岩肌の道を手すりをたよりに。スリルを味わいました。その後、彦根城に行き楽しいバス遠足となりました。（子ども参加３４名）

**②ワクワク合宿**１日目は、希望が丘文化公園での活動。山道を歩いて自然観察、広場でお弁当、ボール遊びと元気な子どもたち。川下でプランクトン採取。夜は、採ってきたプランクトンを顕微鏡で観察、天体観測等楽しく過ごしました。２日目は、バルーンアート教室、ボランティアさんを依頼し、本格的にチャレンジしました。昨年とは違った形での合宿となりました。（子ども参加４０名）

**③お菓子作りにチャレンジ**クッキーと牛乳かんてんを作りました。健康推進員の方に教えてもらいながら小さな手でクッキー作りに挑戦！とてもかわいく、美味しいクッキーのできあがり。牛乳かんてんと一緒に美味しくいただきました。（子ども参加１３名）







## 教室の実施場所

コミュニティセンターしのはら

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】
【参加人数】 平日　　（　０　）人
土日・祝日　（　825　）人
長期休暇　　（　114　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　０　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
青少年育成会議、地域子ども教室、センター職員、健康推進員、老人クラブ等の中から適任な方を支援者に依頼している。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | ー | ー | 40 | １～２ |
| 登録者数 | ー | ー | 40 | ー |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
保護者による送迎、友達同士での自転車利用

【緊急対応】保護者への緊急連絡先、健康状況調査票の提出により安全を第一に考え把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】食物アレルギーをもつ子どもさんについては保護者との連携をとっている。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　０　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】募集の段階で知らせている。
【学校支援地域本部】なし
【児童クラブ】連携あり
【地域】学区老人会や健康推進員による指導、更生保護女性会、小学校PTA役員、民生児童委員の協力を得ている。
【企業・大学】　なし
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 低学年の参加者が増えている。高学年になると習い事やスポーツ活動により参加者が限定されている。

【子どもの声】: 楽しかった・おもしろかった・またやってみたい等、好評であった。

【保護者の声】: 「ありがとう」の感謝の声をいただいている。

【スタッフの声】: いつも子どもたちの笑顔が最高！！疲れもあるがやりがいを感じる。

# 野洲市子ども教室 祇王子どもクラブ　祇王小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 53 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 9 日 |

## 活　動　内　容

・毎週土曜日、コミセンぎおう大ホールで、17:00～21:00頃まで練習をしています。
・よさこい踊りを通して、子ども達の健全育成活動と地域に「笑顔と元気」を届けたいと活動をしています。



・コミュニティセンターぎおう学習室（調理実習室）において年間９回（土曜日）に開催。
・主食、副食バランスよく食事ができるように、また好きな物だけでなくいろんな物を食べられるよう「食べ物を選ぶ力」「食べる量」など、食育を考え、健康な体づくりを目的に健康推進員さんと一緒に体験しています。



## 教室の実施場所

コミュニテ-センターぎおう
（大ホール・学習室）

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生以上
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　（　670　）人
長期休暇　　（　59　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　０　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】野洲市役所広報への掲載及び、まちづくり活動支援センターで募集及び野洲市健康養成講座を受講した健康推進員9名

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | － | － | － | － |
| 登録者数 | 15 | － | － | 2 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】　親の車で送迎

【緊急対応】 親子でチームに参加してもらい、一緒に見学や踊ってもらっています。受付時に電話番号を確認している
【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　０　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】　祇王小学校にチラシを配布依頼
【学校支援地域本部】　無し
【児童クラブ】　無し
【地域】 祇王学区青少年育成会議
【企業・大学】　無し
【その他】　無し

## 事業を実施して

【成果と課題】:
・中学生になると部活動が忙しいので殆ど退会するので惜しいと思っています。
・健康な体のために、「食べ物を選ぶ力」「食事量」について学びながら親子で料理を体験し大変好評です。

【子どもの声】:
・よさこいの練習に行くのが楽しい。親と一緒に料理を体験でき楽しいです。

【保護者の声】:
・演舞にもたくさん参加させてもらって、人前で踊る事で子どもの自信にもつながり、また子ども達同士の結束力も強くなっています。
・子どもと一緒に料理を体験でき楽しいです。

【スタッフの声】:
・ひとり一人に声掛けをすることで、自信を持って踊ってくれるようになり、全体のまとまりが出てきました。
・子どもの時から食や、健康について考えてもらい、将来大人になった時、肥満や生活習慣病を予防するためにも、大切であると考えてもらっています。

# 野洲市　三上楽しいクラブ活動　三上小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 33日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 5日 |

## 活　動　内　容



楽しいクラブ「将棋」 月 2 回土曜日開催
サポーター・パソコン・友達と仲良く対戦しています。



楽しいクラブ「クッキング」

健康推進員さんと一緒に楽しく調理しています
高学年の子どもさんが年下の子どもさんをが温かく見守っています。

## 教室の実施場所

コミュニティセンターみかみ

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 三上小学校　1年～ 6年
【参加人数】 平日　　（　0　）人
土日・祝日　（ 391 ）人
長期休暇　　（　45　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ 0 ）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】広報紙に募集の掲載、地域の方々に声かけをしてもらっている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2～6 | － | － | 2～6 |
| 登録者数 | 11 | － | － | － |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 車で保護者が送迎、徒歩・自転車で友達と参加

【緊急対応】 募集時に保護者から緊急連絡先を聞いている。名簿作成に記入、救急箱、AED常設

【配慮の必要な子どもへの対応】 サポーター、事務局、役員、学校と連絡を取り合っている。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ 0 ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 三上小学校
【学校支援地域本部】 なし
【児童クラブ】 なし
【地域】 三上地域教育推進協議会
【企業・大学】 なし
【その他】 なし

## 事業を実施して

【成果と課題】: 異年齢のなか、思いやりが育っている。複数のクラブに参加、開催日の設定難しい。
【子どもの声】: お友達と学校以外で会えるのが楽しい。
【保護者の声】: 明るくなった、異年齢の子どもさんとも仲良くなれた。
【スタッフの声】: 元気の良い挨拶で来館してくれている。夏休みの参加数、日程調整が難しい

# 野洲市　野洲学区わくわく子どもクラブ　　野洲小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ― | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 21 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 4 日 |

## 活　動　内　容

わくわくえてがみ
小学生3年～6年生
参加者　10名
9:30～11:30
8回開催



わくわく日本舞踊
小学生1年～6年生
参加者　4名
9:30～11:00
8回開催



わくわくカロム①
小学生1年～3年生
参加者　23名
9:30～10:45
8回開催



わくわくカロム②
小学生4年～6年生
参加者　29名
10:45～12:00
8回開催



わくわくいけ花
小学生1年～6年生
参加者　16名
9:30～11:30
8回開催



わくわく親子
　クッキング
小学生1年・2年生
参加者　14名
保護者　12名
9:00～13:00
5回開催



## 教室の実施場所

野洲市コミュニティセンターやす

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生1年から6年生
【参加人数】 平日　　（　　）人
　　土日・祝日　　（ 462 ）人
　　長期休暇　　（ 140 ）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ 2 ）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
　広報紙募集掲載、講師・安全管理員からの紹介

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 6 | － | － | 5 |
| 登録者数 | 6 | － | － | 5 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
　保護者に送迎をお願いしている
【緊急対応】
　参加児童・保護者名簿を作成し連絡を取れる体制を取っています。また、不審者対策として「さすまた」を各階に装備
【配慮の必要な子どもへの対応】
　有資格者がいないため、保護者と相談対応を確認し出来るだけ参加をお願いしている
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　2　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】　募集チラシの全学年配布を依頼
【学校支援地域本部】　なし
【児童クラブ】　カロム指導者、安全管理員として参加してもらっている
【地域】　指導者の情報提供
【企業・大学】　なし
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 地域の高齢者との交流を深める事が出来た。クラブ活動において異学年交流ができた。指導者が高齢化しており事業を継続する為に後継者を探すのがむずかしい。

【子どもの声】: 超おいしい。家でも作ってみたい。

【保護者の声】: 毎回が楽しみで参加しています

【スタッフの声】: 風船唐綿の面白い実を使って皆さん楽しく生けることが出来ました

# 野洲市　北野っ子フレンドリークラブ　　北野小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | － | 活動の特徴 | 自由活動型 | － | 開催日 | 平日 | － | 年間開催日数 | 24 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 2 日 |

## 活　動　内　容

１．開催日、開催時間

土曜日　午前９時３０分～１１時３０分

２．教室名

囲碁（３回/年）、将棋（３回/年）、
パソコン（４回/年）、工作（２回/年）、
料理（３回/年）、絵画（１回/年）、
オセロ（３回/年）、菓子作り（１回/年）、
グランドゴルフ（３回/年）、
昔遊び（１回／年）

３．教室風景



料理教室（H25年 6月 15日）



パソコン教室（H25年 9月 21日）

## 教室の実施場所

コミュニティセンターきたの

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学生（内、学年範囲指定7回）
【参加人数】 平日　　（　　0）人
土日・祝日　（　477）人
長期休暇　　（　257）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】　北野学区青少年育成会が年間計画策定時に各教室の教育活動サポーターを青少年育成会役員や地域有識者に依頼している。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | 7 | － | － | － |
| 登録者数 | 21 | － | － | － |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】　小学校１～２年生については、保護者の送迎を要請している。

【緊急対応】　教育活動サポーターがコミセンきたの事務局員と連携して、迅速に対応する。

【配慮の必要な子どもへの対応】　なし

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　　0）人

## 地域の機関等との連携

【学校】北野小学校（計画開示、参加者募集）
【学校支援地域本部】　なし
【児童クラブ】　なし
【地域】　北野学区青少年育成会（企画、開催）
【企業・大学】　なし
【その他】　必要に応じ、地域有識者に協力要請

## 事業を実施して

【成果と課題】: プランの担い手（教育活動サポーター、等）の確保が継続上の課題である。

【子どもの声】: －

【保護者の声】: －

【スタッフの声】: ―

# 東近江市

連絡先
東近江市教育委員会　生涯学習課
ＴＥＬ：０７４８－２４－５６７２
ＦＡＸ：０７４８－２４－１３７５
E-mail：syogaika@city.higashiomi.shiga.jp

## １　運営委員会組織

運営委員会名

東近江市地域教育協議会

委員数　（　２３　）人

構成委員（所属・役職名）

青少年育成市民会議代表、PTA連絡協議会代表、子ども会連合会代表、
スポーツ少年団代表、子育て支援団体代表、公立小学校長会代表、公立中学校長会代表、
学校と地域を結ぶコーディネーター担当者代表（小学校から2人）
各地区地域教育協議会代表（14人）

## ２　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| １ | 平成25年<br>5月29日<br>（水） | 12人 | ●平成24年度事業報告・収支決算について<br>●平成25年度事業計画（案）・収支予算（案）について<br>●交流会<br>各地区の活動を紹介、意見・情報交換 |
| ２ | 平成25年<br>11月19日<br>（火） | 12人<br>（委員以外<br>20名） | ●公開研修会<br>「学校支援地域本部事業って？<br>～地域ぐるみで学校運営を支援するシカケ～」<br>（滋賀県教育委員会生涯学習課社会教育主事　中北隆尚　氏）<br>事例発表（2本部）、ワークショップ |
| ３ | 平成25年<br>3月（予定） | 23名 | ●平成25年度活動報告と平成26年度の見通しについて<br>●各事業の取り組み状況の報告<br>●意見・情報交換会 |

## ３　広報

学校や自治会、各地区コミュニティセンター通信などを通して活動案内を配布し募集する。
東近江市ホームページへ各地区の活動報告を掲載
東近江市ケーブルテレビ

## ４　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

特になし

## ５　スタッフの研修・ミーティングなど

特になし

# 東近江市　蒲生マックスクラブ　蒲生東・西・北小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 45 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 9 日 |

## 活　動　内　容

◆活動クラブ
①茶道クラブ（毎月第２土曜日）
②くらふと☆デコ（年６回）
③そろばんクラブ（毎月第２土曜日）
④蒲生野太鼓わらべ組（毎週土曜日）
⑤陶芸クラブ（毎月第４土曜日）
⑥ITキッズクラブ（毎月第３土曜日）
⑦KIDS　FLOWER（年６回）
⑧キッズダンス（毎月第３土曜日）

◆活動時間帯
10:00～12:00、13:30～15:00、18:00～21:00





## 教室の実施場所

蒲生コミュニティセンター

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学1年から中学2年まで
【参加人数】 平日　　（　0 ）人
土日・祝日　　（ 1687 ）人
長期休暇　　（ 299 ）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ 0 ）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
地域の方々に声をかけ参加してもらっている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | １～６ | ー | ２～４ | ー |
| 登録者数 | 32 | ー | ー | ー |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者に依頼している。迎えが遅い場合はボランティア当番が一緒に待つ。

【緊急対応】指導者・ボランティアスタッフに安全管理マニュアルで指導している。事務所には専用の救急箱を用意している。

【配慮の必要な子どもへの対応】
参加申込時に保護者から聞き取りを行う。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ 0 ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】子どもたちへのチラシ配布や声掛けを依頼
【学校支援地域本部】なし
【児童クラブ】なし
【地域】地域のサークルに指導・安全監視を依頼
【企業・大学】なし
【その他】なし

## 事業を実施して

【成果と課題】: 違う学校や学年の人とも次第にコミュニケーションがとれるようになっている。保護者との関わりを増やしていきたい。

【子どもの声】: やっていて楽しい。新しい友達ができた。

【保護者の声】: 子どもが参加するのを楽しみにしている。

【スタッフの声】: 子どもたちの１年間の成長ぶりが見られてうれしい。

# 米原市

連絡先
米原市　健康福祉部　子育て支援課
TEL　0749-55-8104
FAX　0749-55-4040
E-mail　kosodate@city.maibara.lg.jp

## 1　運営委員会組織

**運営委員会名**

米原市放課後安心プラン推進委員会

**委員数**　（　１２　）人

**構成委員（所属・役職名）**

米原市子ども会育成連合会代表（１名）、民生委員児童委員代表（２名）、放課後児童クラブ関係者（２名）、放課後キッズ関係者（１名）、市民団体代表（３名）、校長会代表（１名）、学校教育課長、子育て支援課長

## 2　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| １ | 11 月 19 日 | １１人 | ・放課後安心プランの概要説明<br>・放課後児童クラブ、放課後キッズに関する意見交換 |

## 3　広報

・年度当初に小学校を通じて全児童へチラシを配布し参加児童を募集
・放課後キッズ通信を参加者に配布

## 4　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

・放課後児童クラブと放課後キッズは互いに参加者を把握し、案内チラシの配布や保護者のお迎え時間の調整などを行っている。また、活動場所へ安全に移動できるよう協力している。
・放課後キッズ事業の連携として、民生委員・児童委員、シルバー人材センター、地域ボランティアの方々の協力を得て実施している。

# 米原市　放課後キッズinおうみ　坂田・息長小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ― | | 自由活動型 | ― | | 平日 | ― | | 5日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 2日 |

## 活　動　内　容

①田植え体験とさつまいもの苗植え
どろんこ農園にて、機械を使わない昔ながらの手作業での田植えとさつまいもの苗植え体験を実施。

②玉ねぎの収穫と敦賀の屋台ラーメン食体験
どろんこ農園にて、玉ねぎの収穫体験を実施。収穫のあとは近江公民館にて、敦賀の屋台ラーメンの食体験を実施。

③やまんばの森でカヌー体験
やまんばの森にて、１、２年生は２人乗り、３年生以上は１人乗りのカヌー体験を実施。

④・⑤稲刈りとさつまいもの収穫体験/どろんこ農園祭
午前中は、どろんこ農園にて春に植えた稲とさつまいもの収穫体験を実施。午後からは、近江公民館にて、農園で採れた野菜等を使った模擬店や、宝さがし、的当てゲーム等の楽しい企画を実施。

⑥ロング巻き寿司作り体験
秋にどろんこ農園で収穫した新米を使って、ロング巻き寿司体験に挑戦。



①田植え体験とさつまいもの収穫
H25.5.18(土)



④田植え体験とさつまいもの収穫
H25.9.28(土)

## 教室の実施場所

・近江公民館
・どろんこ農園（舟崎地先）
・やまんばの森（日光寺）

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学生1年生～6年生
【参加人数】平日　　（　　0）人
　　土日・祝日　（　140）人
　　長期休暇　　（　　80）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
地域のボランティアの方々や、ボランティアグループに声をかけ参加して頂いている。

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 3 | 3 | 5～10 | |
| 登録者数 | 5 | 3 | 18 | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】送迎は必ず保護者の方にお願いしている。また、開催地への送迎は地域安全防犯パトロール隊員に依頼。
【緊急対応】保護者の緊急連絡先を聞いており、何かあればすぐに対応するよう心掛けている。
【配慮の必要な子どもへの対応】事前に健康チェックを行い、配慮が必要な児童については安全管理員を配置し見守る。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　０　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】児童への募集チラシ配布依頼および先生方にも実施内容の通知。
【学校支援地域本部】
【児童クラブ】
【地域】地域ボランティアの皆さんにその都度声をかけて協力していただいている。
【企業・大学】
【その他】どろんこの会　里山保全ＮＰＯ法人やまんばの会

## 事業を実施して

【成果と課題】：毎年、参加を希望する児童が多く、特に核家族の多い団地に住む児童の参加が目立ち、好評をいただいている。今後は、保護者の方にも参加していただけるような活動を積極的に展開していきたい。
【子どもの声】：学校ではなかなかできない体験ばかりなのですごく楽しい。
【保護者の声】：家に帰ってくると体験したことを楽しそうに話してくれるので、今後も続けて頂きたい。
【スタッフの声】：子どもたちがのびのびと体験している姿を見て、元気をもらっている。学年や世代をこえた交流で集団意識を育んでもらえるよう見守っていきたい。

# 米原市　放課後キッズinまいはら　米原・河南小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ● | | 自由活動型 | ● | | 平日 | ― | | 9 日 |
| | 学校外 | △ | | プログラム型 | △ | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容



卓球・バドミントン・ドッヂビー・キンボールなど好きなスポーツやかけっこ教室をしました。



杵と臼でお餅つき

今年は、台風の影響で、カヌー教室ができませんでした。
みんな楽しみにしていたので残念でした。

## 教室の実施場所

市立河南小学校・旧息郷小学校

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 小学校1～6年生
【参加人数】 平日　　（　　）人
　　土日・祝日　　（　234　）人
　　長期休暇　　（　　）人
　　※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
地域や、運営委員さんへのチラシ配布や声かけ

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 5 | 1 | 1 | 1 |
| 登録者数 | 10 | 5 | 2 | 5 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
保護者による送迎・タスキで保護者確認

【緊急対応】
緊急連絡先名簿、携帯電話の所持

【配慮の必要な子どもへの対応】
スタッフミーティングでの共通認識
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 募集チラシ等配布
【学校支援地域本部】 ―
【児童クラブ】 ―
【地域】 各種団体・サークル
【企業・大学】 ―
【その他】 ―

## 事業を実施して

【成果と課題】: 学校とは違った雰囲気での異年齢交流ができた。もっと多くの子に参加してもらいたい。
【子どもの声】: 大縄跳び・バドミントンが好き。おもちつきも楽しかった。
【保護者の声】: 学校・地域のイベントと重なる。楽しんで参加している。
【スタッフの声】: 低学年の子が多いが、受け身にならず自由にのびのびとやりたいことができる環境を作っていきたい。

# 米原市　放課後キッズinきんせい　山東小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ー | 開催日 | 平日 | ー | 年間開催日数 | 8 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0日 |

## 活　動　内　容

☆農業体験
　６月にさつま芋の苗を植え、10月にイモ掘りを行った。大きな芋がたくさんとれ、昔ながらに火を焚いて焼きイモを焼いた。たき火で焼いた焼き芋は最高においしかった。

☆カヌー体験
　奥伊吹にある曲谷のダム湖で、カヌーに乗った。救命胴衣をつけ、こぎ方を習った。はじめて乗る子がほとんどだったが１年生は大人と２人乗りで、ほかの学年は１人乗りの艇に挑戦。最初は乗れるか心配していた子どもたちもすぐに慣れ広いダム湖上に出艇し大好評だった。



☆遠足
　京都水族館

☆工作
・身近にある物を使って遊び道具作り
・割りばし紙鉄砲
・ラップの芯でロケット
・びっくり紙コップ
・磁石でダーツ
・ラミネートを使った作品作り

☆手打ちうどん



☆室内ゲームを楽しむ
☆お菓子づくり

## 教室の実施場所

米原市山東生涯学習センター・米原市曲谷　ダム湖・京都水族館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】 山東小学校在籍全児童
【参加人数】 平日　　（　—　）人
　　土日・祝日　（ 104 ）人
　　長期休暇　（　—　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（ ０ ）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
　適材な人に依頼

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| １日あたり | 5 | 1 | | 1 |
| 登録者数 | 6 | 2 | | |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】
　保護者による送迎

【緊急対応】
　緊急連絡先の事前把握により対応

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（ ０ ）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 山東小学校を通じて保護者との連絡
【学校支援地域本部】
【児童クラブ】
【地域】 シルバー人材センター
【企業・大学】
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 小規模の小学校の児童を対象にしており、登録数も年々減少。地域の子ども会や他の行事等と重なると参加者が非常に少なくなってしまう。内容、開催日、対象者等見直す必要を感じています。
【子どもの声】: 初めて乗るカヌーは怖かったけど、乗ってみると面白かった。また乗りたい。
【保護者の声】: 毎回いろいろと子どもたちを楽しませていただきました。季節の事柄やレクレーション、遠足など、片寄らない内容で毎回楽しみにしていました。
【スタッフの声】: 子どもたちが自ら企画し、体験できるような専門スタッフが必要。

# 米原市　放課後キッズinジョイ　伊吹・春照小学校区

| 実施場所 | | | 活動の特徴 | | | 開催日 | | | 年間開催日数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校内 | ー | | 自由活動型 | ー | | 平日 | ● | | 10 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ● | | 土日・祝日 | △ | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

○第１回(5/22)　体育館で遊ぼう　№.１
　３種類のニュースポーツ（スポーツ吹矢、ディスコン、スマイルボーリング）を体験した。（伊吹山麓青少年総合体育館での活動）



○第２回(6/19)グラウンドゴルフを楽しもう
　文化センターの芝生広場でグラウンドゴルフを体験した。

○第３回(7/3)手打ちうどんを作ろう
　地域のレストランのシェフを講師に迎え、手打ちうどん作りを体験した。
（春照小児童対象）



○第４回(7/10)手打ちうどんを作ろう
（伊吹小児童対象）
○第５回(9/25)ランプくんを作ろう
　ペットボトルと紙粘土を使ってランプシェードを作った。
○第６回(10/30)体育館で遊ぼう　№.２
　ばくだんゲーム、スーパー玉入れ、大旗リレーなどの軽スポーツを体験した。
○第７回(12/10)クリスマスケーキを作ろう
（伊吹小児童対象）
○第８回(12/18)クリスマスケーキを作ろう
（春照小児童対象）
○第９回(1/19)かるた・百人一首＆もちつき大会
（青少年育成市民会議伊吹支部との合同事業）
○第１０回(2/19)マユ玉でお雛さんを作ろう
　伊吹山文化資料館での活動

## 教室の実施場所

米原市伊吹薬草の里文化センター
米原市伊吹山文化資料館
伊吹山麓青少年総合体育館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】　小学1年生～6年生
【参加人数】 平日　　（　225　）人
　　土日・祝日　（　25　）人
　　長期休暇　（　0　）人
　　※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
　青少年育成活動に携わる人への声かけによる

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 6～8人 | 1～2人 | ー | ー |
| 登録者数 | 9人 | 2人 | ー | ー |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】 必ず保護者の送迎による。放課後児童クラブ参加児童は、クラブ指導員の引率による。

【緊急対応】 救急鞄の携行。緊急連絡先を児童名札の裏面に記載し、緊急時に連絡を取る。

【配慮の必要な子どもへの対応】 必要に応じて、教育活動サポーターが個別について見守る。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】 募集ちらし、開催案内等の配布協力。
【学校支援地域本部】
【児童クラブ】 クラブ指導員の参加
【地域】 伊吹文化資料館や伊吹山麓青少年総合体育館の皆さんに協力していただいている。
【その他】

## 事業を実施して

【成果と課題】: 毎年、活動内容を計画するのが大変だが、スポーツ、調理、物づくりなど様々な活動に取り組めた。グループでの活動を取り入れることにより、異学年交流が進んだ。

【子どもの声】: 体育館でおもしろいゲームをしたり、きれいなランプシェードが作れてよかった。

【保護者の声】: 体を動かしたり落ち着いてものを作ったり、片寄らない内容で楽しく過ごせました。

【スタッフの声】: 子どもたちが意欲的で、低学年・高学年と差はあっても、うまくカバーし合いながら遊びができているので、そういう気持ちの和が広がっていけばと思う。

# 竜王町

連絡先
竜王町教育委員会公民館
TEL：０７４８－５８－１００５
FAX：０７４８－５８－１９７９
E-mail：kouminkan@town.ryuoh.shiga.jp

## １　運営委員会組織

運営委員会名

（公民館子ども教室運営委員会）

委員数　（　９　）人

構成委員（所属・役職名）

小学校教師（１名）、地域住民（６名）、元小学校校長（２名）、

## ２　運営委員会の協議内容

| 回 | 実　施　日 | 参加人数 | 協　　議　　内　　容 |
|---|---|---|---|
| １ | ５月１１日 | ９人 | 今年度の取り組みについて<br>活動内容の確認<br>親子で参加できる活動の取り入れ |
| ２ | １月下旬 | ９人 | 今年度の反省および次年度に向けての課題と対策 |

## ３　広報

４月に参加募集チラシの配布

各クラブ活動内容は、ホームページにより随時掲載

## ４　連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

竜王小学校、竜王西小学校：参加募集及び発表会

小学校ＰＴＡ、老人クラブ連合会、りゅうおうＬａｄｙ（女性G）

⇒交流活動体験の支援協力

内容：発表会、料理、餅つき、工作づくり等

## ５　スタッフの研修・ミーティングなど

運営委員会に併せて実施

# 竜王町子ども教室【宇宙科学クラブ】竜王・竜王西小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ー | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | △ | 年間開催日数 | 12 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ー | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

モーター作り



家族みんなで天体観測



## 教室の実施場所

竜王町公民館
妹背の里
琵琶湖博物館　等

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学校1年生～6年生
【参加人数】 平日　　（　44　）人
土日・祝日　（　140　）人
長期休暇　　（　　0　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員等の情報提供により候補者をリストアップ後、採用決定により採用。
・公民館職員

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 3 | ― | ― | 4 |
| 登録者数 | 6 | ― | ― | 4 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】・保護者による公民館玄関前及び活動場所までの送迎。

【緊急対応】・保護者への緊急連絡網の作成
休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】小学校2校、【学校支援地域本部】なし
【児童クラブ】なし、【地域】なし
【企業・大学】なし【その他】琵琶湖博物館、
京都市青少年科学センター

## 事業を実施して

【成果と課題】：活動を通して、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。

【子どもの声】：毎日いろんなものをつくるので楽しく参加できた。屋外ではバスで野鳥を観たり、空の星を望遠鏡で見られてすごく良かった。

【保護者の声】：体験学習後に、家で「望遠鏡で見る星ってきれい。金星なんて近くにあるように見えたよ」といきいきと報告してくれる姿に、子ども教室に参加させて良かったと思いました。

【スタッフの声】：多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば幸いです。さらに将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸せです。

# 竜王町子ども教室【絵画クラブ】竜王・竜王西小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 11 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

絵の具で真っ直ぐ線を描こう



好きな模様や絵を描こう



## 教室の実施場所

竜王町公民館
三井寺

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学校1年生～6年生
【参加人数】平日　　（　　）人
土日・祝日　（　67　）人
長期休暇　　（　　0　）人
※延べ参加者数を記入してください
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員等の情報提供により候補者をリストアップ後、採用決定により採用。
・公民館職員

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | ― | ― | 1 |
| 登録者数 | 3 | ― | ― | 1 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】・保護者による公民館玄関前及び活動場所までの送迎。

【緊急対応】保護者への緊急連絡網の作成
休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】小学校2校
【学校支援地域本部】なし、【児童クラブ】なし
【地域】なし、【企業・大学】なし、【その他】なし

## 事業を実施して

【成果と課題】：活動を通して、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。

【子どもの声】：三井寺へ家族写生大会に行きました。建物の絵は難しかったけど家族と一緒でとても楽しかったです。

【保護者の声】：活動のお陰で、家でも絵を描くようになり、真剣に取り組んでいる姿を見たときはとても感激しました。

【スタッフの声】：子ども達に、絵を描くことの素晴らしさを知ってもらえた事がありがたい。

# 竜王町子ども教室【吹奏楽教室】竜王・竜王西小学校区

| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 45 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

発表会に向けて猛特訓



ステージ発表会




## 教室の実施場所

竜王町公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学校3年生～6年生
【参加人数】 平日　　（　―　）人
土日・祝日　（　470　）人
長期休暇　　（　　0　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】・住民、学校教員OB、行政職員等の情報提供により候補者をリストアップ後、採用決定により採用。
・公民館職員

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | ― | ― | 3 |
| 登録者数 | 3 | ― | ― | 3 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】・保護者による公民館玄関前及び活動場所までの送迎。

【緊急対応】・保護者への緊急連絡網の作成
休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】小学校2校、【学校支援地域本部】なし
【児童クラブ】なし、【地域】なし
【企業・大学】なし、【その他】なし

## 事業を実施して

【成果と課題】: 活動を通して、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。

【子どもの声】: 人数は少ないけれど、みんながそれぞれに好きな楽器を選んでアンサンブル演奏ができるようになってよかった。

【保護者の声】: 演奏会を見に行った時の子ども達の素晴らしい演奏を聴き、感動しました。

【スタッフの声】: 練習の成果が、様々な舞台発表で発揮でき、子ども達のイキイキした笑顔に喜びを感じています。

# 竜王町子ども教室【和太鼓クラブ】竜王・竜王西小学校区

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所 | 学校内 | ― | 活動の特徴 | 自由活動型 | ● | 開催日 | 平日 | ― | 年間開催日数 | 23 日 |
| | 学校外 | ● | | プログラム型 | ― | | 土日・祝日 | ● | うち長期休暇日数 | 0 日 |

## 活　動　内　容

文化祭に向けて猛特訓



文化祭ステージ発表




## 教室の実施場所

竜王町公民館

## 参加対象学年・参加人数

【対　　象】小学校1年生～6年生
【参加人数】 平日　　（　　）人
土日・祝日　（　365　）人
長期休暇　　（　　0　）人
※延べ参加者数
【特別支援が必要な子どもの参加人数】（　0　）人

## コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】住民、学校教員OB、行政職員等の情報提供により候補者をリストアップ後、採用決定により採用。
公民館職員

【スタッフ配置人数】

| | 教育活動サポーター | 教育活動推進員 | ボランティア | 講師 |
|---|---|---|---|---|
| 1日あたり | 2 | ― | ― | 1 |
| 登録者数 | 3 | ― | ― | 1 |

## 安全管理・配慮事項

【送迎】保護者による公民館玄関前及び活動場所までの送迎。

【緊急対応】保護者への緊急連絡網の作成
休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
◎特別支援学級（学校）の子どもの参加（　0　）人

## 地域の機関等との連携

【学校】小学校2校、【学校支援地域本部】なし
【児童クラブ】なし、【地域】なし
【企業・大学】なし、【その他】竜王町文化協会

## 事業を実施して

【成果と課題】：活動を通して、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。

【子どもの声】：リズムよく演奏ができるまでになれてとても良かった。

【保護者の声】：活動後に、家で「今日は本番と同じように練習してきた」という話を聞くと、一生懸命我が子に益々声援を送りたくなりました。

【スタッフの声】：技能はもとより、子ども達が自信に充ち溢れた姿と仲間同士が助け合う姿がとても印象的です。

# 放課後児童クラブの現状

平成25年5月1日現在

## 1　放課後児童クラブ数実施状況

### （1）　小学校の状況

| | | | |
|---|---|---|---|
| 小学校区数 | 227 か所 | 児童数 | 83,341 人 |
| 小学校１～３年生の総数 | 40,562 人 | ＊４～６年 | 42,779 人 |

### （2）　放課後児童クラブの概況

| 補助対象別クラブ数 | 国庫補助対象 | 大津市 | 市町単独実施 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| | 205 | 60 | 6 | 271 |

### （3）　放課後児童クラブの状況

| 調査項目 | | 公立公営 | 公立民営 | 民立民営 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実施場所別放課後児童クラブ数 | 児童館・児童センター | 1 | 2 | 5 | 8 |
| | 学校の余裕教室 | 46 | 16 | 2 | 64 |
| | 学校敷地内専用施設 | 35 | 45 | 2 | 82 |
| | 公有地専用施設 | 23 | 45 | 1 | 69 |
| | 民有地専用施設 | 2 | 1 | 9 | 12 |
| | 民家・アパート | 0 | 0 | 3 | 3 |
| | 公的施設利用 | 1 | 11 | 7 | 19 |
| | 団地集会室 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 保育所 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| | 幼稚園 | 1 | 4 | 0 | 5 |
| | 商店街空き店舗 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | その他 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 合計 | 109 | 124 | 38 | 271 |
| 登録児童数別放課後児童クラブ数 | ９人以下 | 3 | 3 | 1 | 7 |
| | １０人～１９人 | 8 | 7 | 9 | 24 |
| | ２０人～３５人 | 40 | 26 | 7 | 73 |
| | ３６人～７０人 | 54 | 76 | 17 | 147 |
| | ７１人以上 | 4 | 12 | 4 | 20 |
| | 合計 | 109 | 124 | 38 | 271 |
| 障害児受入数別放課後児童クラブ数 | 受入なし | 21 | 22 | 16 | 59 |
| | １人 | 22 | 35 | 12 | 69 |
| | ２人 | 18 | 15 | 4 | 37 |
| | ３人 | 20 | 18 | 3 | 41 |
| | ４人以上 | 28 | 34 | 3 | 65 |
| | 合計 | 109 | 124 | 38 | 271 |
| 終了時刻別放課後児童クラブ数 | １７：３１～１８：００ | 20 | 18 | 3 | 41 |
| | １８：０１～１８：３０ | 87 | 34 | 6 | 127 |
| | １８：３１～１９：００ | 2 | 70 | 19 | 91 |
| | １９：０１～２０：００ | 0 | 2 | 8 | 10 |
| | ２０：０１～２１：００ | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | ２１：０１～２２：００ | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 合計 | 109 | 124 | 38 | 271 |
| 休日の開館状況別放課後児童クラブ数 | 土曜日（毎週実施以外） | 108 (2) | 88 (17) | 38 (1) | 234 (20) |
| | 日曜・祝日 | 0 | 2 | 6 | 8 |
| | 長期休暇 | 109 | 104 | 38 | 251 |
| 学年別児童数 | 小学校１年生（障害児） | 1,463 (86) | 1,714 (76) | 484 (8) | 3,661 (170) |
| | 小学校２年生（障害児） | 1,179 (69) | 1,362 (60) | 375 (6) | 2,916 (135) |
| | 小学校３年生（障害児） | 929 (56) | 1,128 (57) | 285 (10) | 2,342 (123) |
| | 小学校４年生（障害児） | 401 (21) | 703 (52) | 226 (10) | 1,330 (83) |
| | 小学校５年生（障害児） | 193 (19) | 395 (30) | 117 (7) | 705 (56) |
| | 小学校６年生（障害児） | 89 (8) | 195 (25) | 89 (3) | 373 (36) |
| | その他（障害児） | 0 0 | 0 (0) | 0 0 | 0 (0) |
| | 合計（障害児） | 4,254 (259) | 5,497 (300) | 1,576 (44) | 11,327 (603) |
| 学年別登録できなかった児童数 | 小学校１年生（障害児） | 5 (0) | 6 (0) | 0 (0) | 11 (0) |
| | 小学校２年生（障害児） | 5 (0) | 3 (0) | 0 (0) | 8 (0) |
| | 小学校３年生（障害児） | 3 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 5 (0) |
| | 小学校４年生（障害児） | 2 (0) | 25 (0) | 0 (0) | 27 (0) |
| | 小学校５年生（障害児） | 2 (0) | 7 (0) | 0 (0) | 9 (0) |
| | 小学校６年生（障害児） | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| | その他（障害児） | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| | 合計（障害児） | 17 (0) | 43 (0) | 0 (0) | 60 (0) |

注：（ ）内の数は、再掲である。

### （4）　市区町村の実施状況

| 全市区町村数 A | 実施率 （B／A） | 実施市区町村 市（特別区） | 町 | 村 | 合　計 B |
|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 100 % | 13 | 6 | 0 | 19 |

## 2　放課後児童クラブ数の推移

